



# True Image™ Lite 2013 by Acronis®

RTM  
ユーザーズ ガイド

# 目次

<b>1</b>	<b>はじめに.....</b>	<b>4</b>
1.1	True Image™ Lite 2013 by Acronis® とは.....	4
1.2	True Image Lite 2013 の基本概念.....	4
1.3	システム要件とサポートされるメディア.....	6
1.4	テクニカル サポート.....	6
1.5	True Image Lite 2013 のインストール.....	7
1.5.1	True Image Lite 2013 のアクティブ化.....	8
1.6	操作の開始方法.....	9
1.7	試用版情報.....	11
1.8	製品版の入手方法.....	11
1.9	ボックス バージョンを購入した場合の手順.....	12
<b>2</b>	<b>プログラムのワークスペース.....</b>	<b>13</b>
2.1	メイン ウィンドウ.....	13
2.2	通知領域のアイコン.....	15
2.3	[設定] メニュー.....	15
2.3.1	統合の設定.....	15
2.4	[ヘルプ] メニュー.....	16
<b>3</b>	<b>Acronis ノンストップ バックアップ.....</b>	<b>17</b>
3.1	Acronis ノンストップ バックアップとは.....	17
3.2	ノンストップ バックアップの作成方法.....	18
3.2.1	Acronis ノンストップ バックアップのデータ ストレージ.....	19
3.3	データのリカバリ.....	21
3.3.1	Acronis Backup Explorer.....	22
3.3.2	ファイルとフォルダのリカバリ.....	27
3.3.3	ファイル バージョンのリカバリ.....	28
3.4	バックアップとバックアップ バージョンの削除.....	29
3.5	ノンストップ バックアップ - FAQ.....	29
<b>4</b>	<b>Acronis オンライン バックアップ.....</b>	<b>32</b>
4.1	Acronis Cloud とは.....	32
4.2	モバイル デバイス対応 True Image とは.....	32
4.3	サブスクリプションを取得する方法.....	33
4.4	[サインイン] メニュー.....	34
4.5	Acronis Cloud へのバックアップ.....	34
4.5.1	オンライン バックアップのオプション.....	36
4.6	Acronis Cloud からのリカバリ.....	42
4.6.1	オンライン バックアップからデータをリカバリ.....	42
4.6.2	リカバリするバージョンの選択.....	43
4.7	オンライン バックアップの管理.....	43

4.8	Acronis Cloud からのデータの削除 .....	44
<b>5</b>	<b>トラブルシューティング .....</b>	<b>45</b>
5.1	Acronis システム レポート .....	45
5.2	Acronis スマート エラー レポート.....	45
5.3	クラッシュ ダンプの収集方法 .....	47
5.4	一般的な推奨事項.....	48
5.5	ログの表示 .....	48
5.6	Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラム.....	50
<b>6</b>	<b>用語集 .....</b>	<b>53</b>

# 1 はじめに

## 1.1 True Image™ Lite 2013 by Acronis® とは

True Image Lite 2013 by Acronis は、PC 上のデータのセキュリティを確保するソフトウェア製品です。このソフトウェアを使用すると、次の 2 つの主要なユーティリティを使用して選択したファイルやフォルダを継続的にバックアップすることができます。

- **Acronis ノンストップ バックアップ**

このユーティリティは、5 分間隔でファイルの変更を継続的に保存します。必要な場合は、任意の時点に簡単にロールバックすることができます。

- **Acronis オンライン バックアップ**

このユーティリティを使用して、最も重要なファイルを特別に安全なリモート ストレージである Acronis Cloud に保存することができます。ご使用のコンピュータが紛失したり、盗難にあったり、または破壊されたりしても、データは保護されます。

True Image Lite 2013 を使用すると、データが紛失した場合、重要なファイルやフォルダを誤って削除した場合、ハード ディスクが完全にクラッシュした場合などの災害発生時に、写真、ビデオ、ドキュメント、および他の個人用データをリカバリすることができます。

ほとんどの PC ストレージ デバイスにバックアップを保存できます。

Windows スタイルのインターフェイスおよびウィザードであるため、操作が簡単です。簡単なステップをいくつか実行するだけで、あとはすべて True Image Lite 2013 によって処理されます。システムに障害や災害が発生した場合は、ソフトウェアによりすぐにコンピュータを稼働できる状態に戻せます。

## 1.2 True Image Lite 2013 の基本概念

ここでは、プログラムの動作のしくみを理解するうえで役立つと思われる、基本的な概念について説明します。

### バックアップとリカバリ

**バックアップ**とは、元のデータが失われてもそのコピーからリカバリできるように、データのコピーを作成しておくことを指します。

バックアップの主な目的は 2 つあります。1 つは、障害または災害発生後に状態を復旧すること（「災害復旧」という）、もう 1 つは、誤って削除されたか破損した少数のファイルをリカバリすることです。

True Image Lite 2013 は、ファイルとフォルダのみを保護し、ディスクとパーティションは保護しないので、補助的な用途でのみ使用できます。True Image 2013 の製品版は、災害発生後の復旧という最初の目的を達成するために、ディスク（またはパーティション）イメージの作成機能を備え、削除、破壊されたファイルのリカバリという 2 つ目の目的のために、ファイル レベル バックアップ作成機能を備えています。

## バックアップ バージョン

バックアップ バージョンは、それぞれのバックアップ処理中に作成された単独または複数のファイルです。統合機能を使用しない場合、作成されるバージョンの数は、バックアップが実行された回数、または保存が実行された時点の数と常に同じになります。つまり、バージョンはそれぞれ特定の時点を表しており、その時点の状態にデータを復元することができます。

バックアップ バージョンは、ファイル バージョンと似ています。ファイル バージョンという考えは、「以前のバージョンのファイル」と呼ばれる Windows Vista や Windows 7 の機能を使用しているユーザーにはよく知られています。この機能を使用すると、ファイルを特定の日時の状態に復元できます。バックアップ バージョンを使用すると、同様の方法でデータをリカバリできます。

バックアップ バージョンは、破損したり削除されたりしたファイルを見つける場合に便利です。目的のファイルが格納されたバックアップ バージョンが見つかるまで Acronis Backup Explorer 内の各バックアップ バージョンを参照するだけです。さらに、発見されたファイルの異なるバージョンをリカバリすることもできます。

## バックアップ ボックス

すべてのバックアップはメイン ウィンドウで四角形で表されます。これらの四角形はバックアップ ボックスと呼ばれます。バックアップ ボックスには、対応するバックアップに関するすべての主要な情報が含まれていて、このバックアップを完全に制御することができます。新しいバックアップ バージョンの作成、データのリカバリ、またはバックアップの設定の変更を行う必要がある場合は、そのために必要なバックアップ ボックスを見つけて適切なボタンまたはリンクをクリックするだけです。

## ノンストップ バックアップのファイル形式

Acronis ノンストップ バックアップでは、データおよびメタデータ用に特殊なストレージが使用されています。このストレージは **Time Explorer Storage** という名前の隠しフォルダです。このフォルダには、補助的なファイル (config.xml、cdp.metadata など) とバックアップされたデータが含まれています。データは、圧縮され、約 1 GB のファイルに分割されます (たとえば、cdp.data、cdp2.data、cdp3.data のようになります)。また、これらのファイルには独自の形式が採用されており、保存されたデータは、True Image Lite 2013 のみを使用してリカバリできます。

## ノンストップ バックアップの統合

統合を使用すると、不要になったバックアップのバージョンを削除することができ、その際バックアップ チェーンが破損する心配がありません。

Acronis ノンストップ バックアップは、統合を自動的に実行します。Acronis ノンストップ バックアップでは、バックアップ データを管理するために使用されるメタデータが統合されます。メタデータの情報はバックアップ データ量よりもはるかに少ないので、統合で必要になる時間とシステム リソースも大幅に少なくなります。

## オンライン バックアップ スケジュール

作成したバックアップを実際に役立てるには、可能な限り「最新」のバックアップを作成しておく必要があります。True Image Lite 2013 は、バックアップ バージョンを毎時間作成します。これより頻繁にデータをバックアップする必要がある場合、いつでも手動でバックアップを実行できます。十分なストレージ領域が存在する限り、データはバックアップされます。

このプログラムの機能を使用する場合、これらの用語と概念を理解しておく役立ちます。

## 1.3 システム要件とサポートされるメディア

True Image Lite 2013 のハードウェアの最小要件は、True Image Lite 2013 を実行するコンピュータにインストールされているオペレーティング システムの要件に対応しています。さらに、True Image Lite 2013 を実行するには次のハードウェアが必要です。

- マウスまたはその他のポインティング デバイス。
- 1 GB 以上の RAM(Acronis ノンストップ バックアップ用)
- 1024 x 768 以上の画面解像度

### オペレーティング システム

True Image Lite 2013 は、次のオペレーティング システムでテスト済みです。

- Windows XP SP3
- Windows XP Professional x64 Edition SP2
- Windows 7 SP1(全エディション)
- Windows 8(全エディション)

他の Windows オペレーティング システム上で正常に動作しますが、保証されません。

### ファイル システム

サポートされるファイル システム:

- FAT16/32
- NTFS

### ストレージ メディア

サポートされるストレージ メディア:

- 内部ハードディスク ドライブ\*
- USB(USB 3.0 を含む)、eSATA、FireWire(IEEE-1394)、SCSI などのいずれかのインターフェイスを備えた外部ハードディスク ドライブ
- ソリッド ステート ドライブ(SSD)
- ネットワーク上のストレージ デバイス

\* True Image Lite 2013 では、ダイナミック ボリュームのタイプのうち「ミラー」および「RAID-5」はサポートされません。

## 1.4 テクニカル サポート

### 保守サポート プログラム

Acronis 製品に関するサポートが必要な場合には、<http://www.acronis.co.jp/support/> にアクセスしてください。

### 製品アップデート

マイ アカウント(<https://www.acronis.co.jp/my>)にログインし、製品を登録していただきますと、お客様がお使いのすべての Acronis ソフトウェアの最新アップデートを弊社ウェブサイトよりダウンロードすることができます。Acronis 製品をウェブサイトで登録するには(英語)

(<http://kb.acronis.com/content/4834>)およびアクロニス ウェブ サイトのユーザーガイド(日本語) (<http://kb.acronis.com/ja/content/8128>)をご参照ください。

## 1.5 True Image Lite 2013 のインストール

### True Image Lite 2013 のインストール

True Image Lite 2013 をインストールする手順は、次のとおりです。

1. セットアップ ファイルを実行します。True Image Lite 2013 は、セットアップ処理を開始する前に新しいバージョンがないかウェブサイトをチェックします。新しいバージョンがある場合は、インストール用に表示されます。
2. インストール メニューで **[インストール]** をクリックし、インストール手順を開始します。



3. **[使用許諾契約]** ウィンドウでライセンス契約を読み、利用規約に同意します。
4. Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラムの参加条件を読み、プログラムに参加するかどうかを決定してください。
5. 必要な場合は、**[セットアップ オプション]** ウィンドウで、インストール フォルダを変更します。
6. **[実行]** をクリックしてインストールを開始します。

### True Image Lite 2013 のアップデート

次の方法で製品の現在のバージョンをアップデートすることができます。

- インストールの開始前にアップデートする。  
True Image Lite 2013 は、インストール ウィンドウ内で新しいバージョンを自動的にチェックします。Acronis ウェブ サイトに使用可能な新しいバージョンがある場合は、新しいバージョンをダウンロードしてインストールするように促すメッセージが表示されます。
- Acronis アップデート ウィンドウ内でインストールされたプログラムをアップデートする。  
**[起動時にアップデートを自動確認]** チェック ボックスがオンになっている場合、このウィンドウに製品の新しいバージョンに関する通知が表示されます。アップデートを手動で確認するには、**[ヘルプ]** メニューをクリックし、**[アップデートの確認]** をクリックします。
- プログラム インターフェイスから直接プロダクト キーを購入する。

製品の試用版を使用していて、製品版にアップデートしたい場合は、Acronis ウェブ サイトにアクセスすることなく、プログラム インターフェイスから直接プロダクト キーを購入することができます。購入するには、ツールバーの **[Acronis ストア]** をクリックし、画面の指示に従います。

## True Image Lite 2013 に問題がある場合のリカバリ

True Image Lite 2013 が動作しなくなったりエラーが発生した場合は、ファイルが破損している可能性があります。このような問題に対処するには、まずプログラムをリカバリする必要があります。そのためには、True Image Lite 2013 インストーラを再度実行します。インストーラによりコンピュータ上の True Image Lite 2013 が検出され、修復か削除の確認を求められます。

## True Image Lite 2013 の削除

**[スタート]** → **[設定]** → **[コントロール パネル]** → **[プログラムの追加と削除]** → **[True Image Lite 2013]** → **[削除]** の順に選択します。画面の指示に従って操作します。

Windows Vista をご利用の場合は、**[スタート]** → **[コントロール パネル]** → **[プログラムと機能]** → **[True Image Lite 2013]** → **[削除]** の順に選択します。画面の指示に従って操作します。削除を完了するために、コンピュータの再起動が必要になる場合があります。

Windows 7 をご利用の場合は、**[スタート]** → **[コントロール パネル]** → **[プログラムのアンインストール]** → **[True Image Lite 2013]** → **[アンインストール]** の順に選択します。画面の指示に従って操作します。削除を完了するために、コンピュータの再起動が必要になる場合があります。

Windows 8 をご利用の場合は、設定アイコンをクリックし、**[コントロール パネル]** → **[プログラムのアンインストール]** → **[True Image Lite 2013]** → **[アンインストール]** の順に選択します。

---

Acronis ノンストップ バックアップを使用した場合は、表示されるウィンドウでノンストップ バックアップ ストレージの処理を選択します。次に **[次へ]** をクリックしてアンインストールを続行します。

---

### 1.5.1 True Image Lite 2013 のアクティブ化

---

True Image Lite 2013 のアクティブ化は完全に自動処理されます。製品を手動でアクティブ化する必要はありません。

---

インターネット経由で製品をアクティブ化する必要があります。アクティブ化しない場合、製品の全機能の利用有効期間は 30 日です。その後、リカバリ以外のプログラム機能がすべて利用できなくなります。

アクティブ化する必要があるのは、製品版のサブスクリプションの True Image Lite 2013 のみです。試用版のサブスクリプションの製品にはアクティブ化は不要です。

次の条件を満たすと自動的にアクティブ化されます。

- コンピュータがインターネットに接続されている。
- アクロニス アカウントを持っている。
- 製品版のライセンスを購入したか、プロダクト キーを入力した。
- 製品を 1 台のコンピュータにのみインストールしている。

True Image Lite 2013 は、製品版のサブスクリプション購入後初めてサインインしたときにアクティブ化されます。

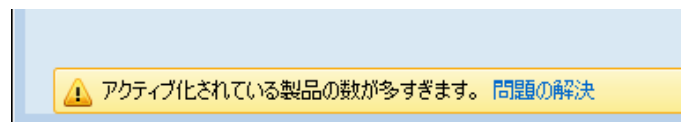


## コンピュータ間でのライセンスの移動

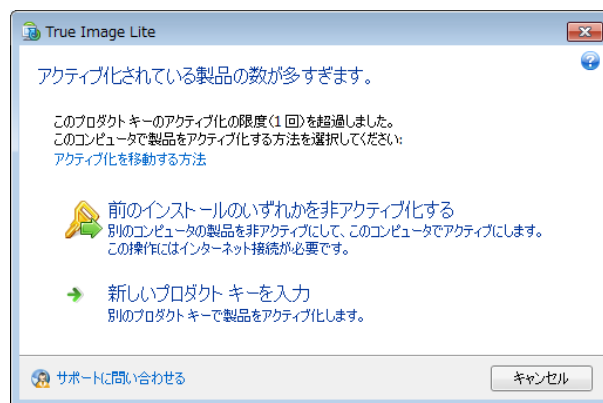
Acronis アカウントを 1 つ持っている場合は、1 台のコンピュータでのみ True Image Lite 2013 をアクティブ化できます。2 台目のコンピュータに製品をインストールした場合、コンソール ウィンドウの下部に関連するエラー メッセージが表示されます。その場合、製品が既にアクティブ化されているコンピュータからライセンスを新しいコンピュータに移動することができます。ライセンスを移動する場合は、次の手順を実行します。

アクティブ化された製品がインストールされているコンピュータからライセンスを移動する手順は次のとおりです。

1. True Image Lite 2013 を別のコンピュータにインストールします。
2. 同じ Acronis アカウントを使用してサインインします。
3. ウィンドウの下部でエラー メッセージを見つけ、[問題の解決] をクリックします。



4. 表示されたウィンドウで、[以前のインストールのいずれかを非アクティブ化する] をクリックします。



5. 表示されたウェブ ページで、画面の指示に従います。ライセンスの移動元のコンピュータをリストから選択します。選択されたコンピュータでは、製品のアクティブ化は解除されますので注意してください。

## 1.6 操作の開始方法

製品のインストールが済んだら、Acronis アカウントを使用してサインインする必要があります。

Acronis アカウントをまだお持ちでない場合は、次の手順に従ってください。

1. 登録フォームに、電子メール アドレスを入力します。

## 新規 Acronis アカウントの登録

メールアドレス

パスワード

パスワードの確認入力

[アカウントを作成] ボタンをクリックすることで、個人情報が [Acronis のプライバシー保護声明](#) に従って、使用されることに同意したと見なされます。

アカウントの作成

### 既にアカウントがある場合

2. 新しいアカウントのパスワードを入力し、該当するフィールドに確認のパスワードを再度入力します。

---

個人データを安全に維持するために、Acronis アカウント用の強力なパスワードを選択して、悪意のある第三者に知られないように保護し、時々変更してください。

---

3. **[アカウントの作成]** をクリックします。
4. True Image Lite 2013 から、指定した電子メール アドレスにメッセージが送信されます。メッセージを開き、Acronis アカウントを作成することを確認します。これを行うには、メッセージ内の対応するリンクをクリックします。

---

注意 5 日以内にアカウントを確認しないと、アカウントは削除されます。

---

**Acronis アカウントを既に持っている場合は、次の手順に従ってください。**

1. 登録フォームで、**[既にアカウントがある場合]** をクリックします。
2. Acronis アカウントの電子メール アドレスとパスワードを入力し、**[サインイン]** をクリックします。

### Acronis アカウントでサインインしてください

tester@acronis.com

.....

サインイン

[アカウントの作成](#)  
[パスワードをお忘れですか？](#)

サインインすると、自動的に製品の試用版を使用できるようになります。詳細については、「試用版に関する情報 (11ページ)」を参照してください。

## 1.7 試用版情報

True Image Lite 2013 をインストールし、Acronis アカウントにサインインした後で、製品の試用版の使用を開始することができます。すべての機能を使用できますが、動作するのは 30 日間の試用期間のみです。試用期間が期限切れになると、Acronis Cloud からのデータのリカバリのみを実行できるようになります。

---

試用期間後は、Acronis Cloud サービスの製品版のサブスクリプションを取得している場合でも、Acronis Cloud にデータをバックアップできなくなりますので注意してください。

---

製品版の購入の詳細については、「製品版の入手方法 (11ページ)」を参照してください。

### Acronis Cloud 試用版サブスクリプション

試用版のサブスクリプションをアクティブ化すると、オンライン バックアップの全機能と 250 GB の Acronis Cloud 上の記憶域スペースを 30 日間利用できます。オンライン バックアップは、30 日間機能した後に、リカバリのみモードになります。

60 日間経過すると、バックアップ済みファイルのすべてのバージョンが Acronis Cloud から完全に削除されます。

## 1.8 製品版の入手方法

True Image Lite 2013 をインストールし、Acronis アカウントにサインインすると、自動的に製品の無料試用版を 30 日間使用できるようになります(詳細については、「試用版に関する情報 (11ページ)」を参照してください)。その後で、製品版を購入できます。

製品版を取得するには、次の手順に従います。

1. True Image Lite 2013 を起動します。
2. ツールバーで **[Acronis ストア]** をクリックします。



3. 表示されたウィンドウで、購入するライセンスを選択し、**[続行]** をクリックして、支払い情報を入力します。  
プロダクト キーがある場合は、対応するオプションを選択し、**[続行]** をクリックして、ボックスにプロダクト キーを入力し、**[送信]** をクリックします。

## 1.9 ボックス バージョンを購入した場合の手順

ボックス バージョンの True Image Lite 2013 を購入した場合、プロダクト キーはボックス内にあります。プロダクト キーは、ご使用のバージョンの製品をアクティブ化するために必要な固有のコードです。安全な場所に保管してください。

### プロダクト キーを使用して、True Image Lite 2013 の製品版を取得する方法

1. True Image Lite 2013 をコンピュータにインストールします。詳細については、「True Image Lite 2013 のインストール (7ページ)」を参照してください。
2. インストールが完了したら、True Image Lite 2013 を起動し、Acronis アカウントにサインインします。詳細については、「操作の開始方法 (9ページ)」を参照してください。その後で、自動的に製品の 30 日間無料の試用版にアクセスできるようになります(詳細については、「試用版に関する情報 (11ページ)」を参照してください)。
3. ツールバーで **[Acronis ストア]** をクリックします。



4. 表示されたウィンドウで、**[プロダクト キーが既にあります]** を選択し、**[続行]** をクリックします。
5. 表示されたウィンドウのボックスにプロダクト キーを入力し、**[送信]** をクリックします。

## 2 プログラムのワークスペース

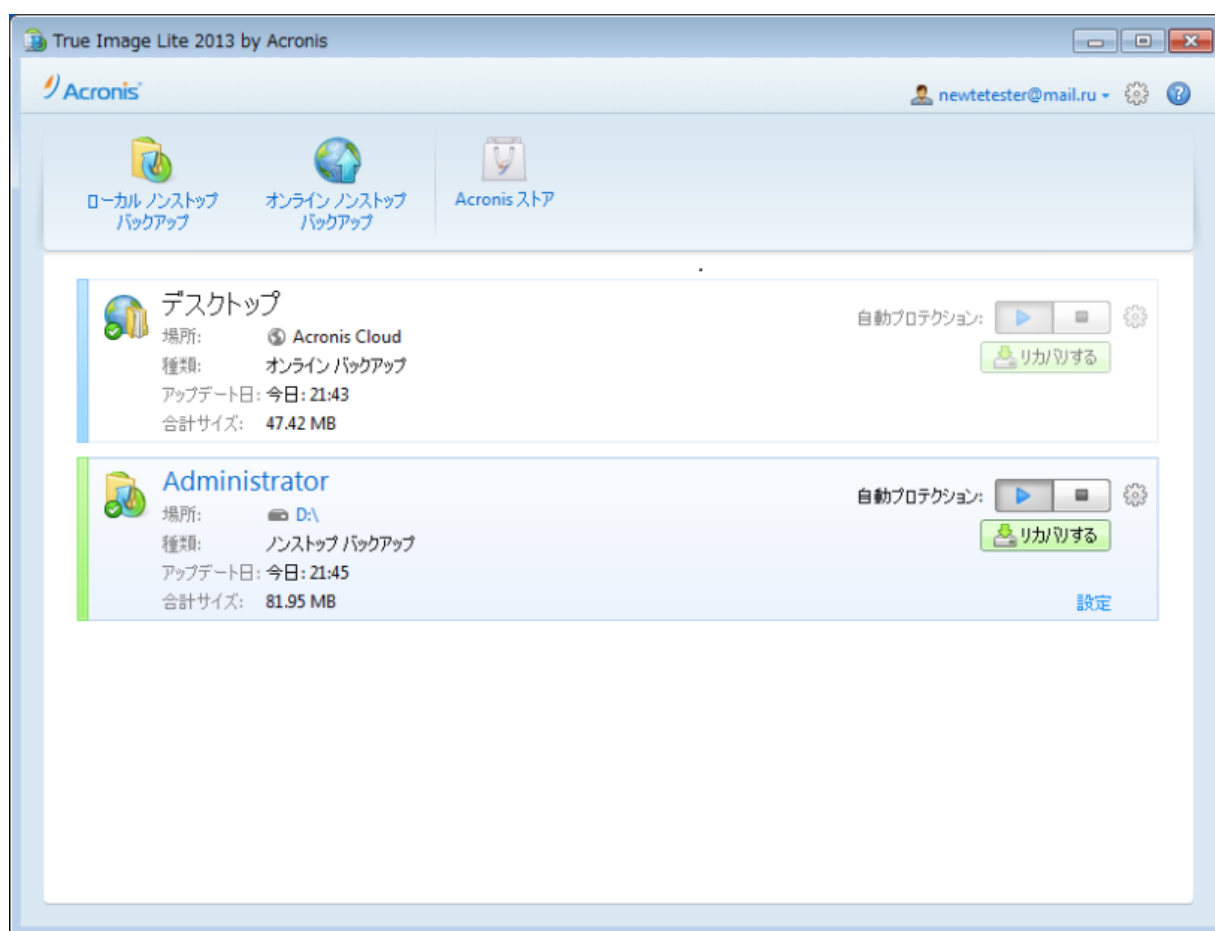
### セクションの内容

メイン ウィンドウ .....	13
通知領域のアイコン .....	15
[設定] メニュー .....	15
[ヘルプ] メニュー .....	16

### 2.1 メイン ウィンドウ

メイン ウィンドウから、プログラムのすべての機能に簡単にアクセスできます。

バックアップをまだ作成していない場合、新しいバックアップを作成するか、既存のバックアップを追加することができます。1 つでもバックアップが存在していれば、画面にバックアップのリストが表示されます。



### ツールバー

ツールバーには、次のコマンドが表示されます。

- ローカル ノンストップ バックアップ

この機能を使用すると、ローカル ディスクにファイルおよびフォルダをノンストップ バックアップできます。ほとんどの場合、True Image Lite 2013 は、5 分ごとにノンストップ バックアップを自動的に更新します。

実行できるノンストップ バックアップは 1 つのみであることに注意してください。

#### ▪ オンライン ノンストップ バックアップ

インターネット経由でアクセスできる安全な Acronis Cloud にデータを保存することができます。ほとんどの場合、True Image Lite 2013 は、毎時間オンライン バックアップを自動的に更新します。

一度に実行できるオンライン バックアップは 1 つのみであることに注意してください。

#### ▪ Acronis ストア

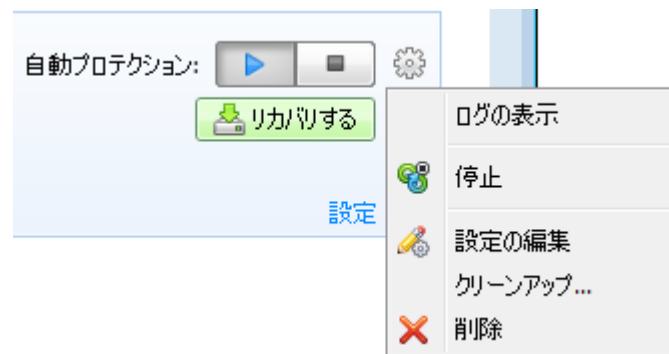
このボタンをクリックすると、True Image Lite 2013 によって開かれるウィンドウで、試用版から製品版へのアップグレード、Acronis Cloud サブスクリプションの購入、このサブスクリプションの更新などを行うことができます。

### バックアップ領域

この領域には、既存のバックアップが表示されます。既存のバックアップに対するすべての処理を実行でき、データのリカバリを開始することができます。

- **[スタート]** - バックアップ バージョンの自動作成を開始します。
- **[停止]** - バックアップ バージョンの自動作成を中断します。
- **[リカバリする]**: データをリカバリします。

#### [処理] メニュー



選択したバックアップのボックスにある歯車アイコンをクリックするか、ボックスの空白の領域を右クリックすると、[処理] メニューが開きます。このメニューには次の項目が含まれます。

- **[ログの表示]**: 現在のバックアップのログを開きます。
- **[設定の編集]** - 現在のバックアップ設定を編集できます。
- **[リカバリ]**(オンライン バックアップでのみ使用できます) - Acronis Cloud アプリケーションを開きます。
- **[クリーンアップ...]**(ノンストップ バックアップでのみ使用できます) - **[クリーンアップ]** ダイアログ ボックスを開きます。このダイアログ ボックスで、不要になったバックアップ バージョンを削除できます。バックアップ チェーンが破損することはありません。
- **[削除]** - 現在のバックアップのすべてのバックアップ バージョンをそれらが保存されているディレクトリから削除します。削除すると元に戻せないご注意ください。

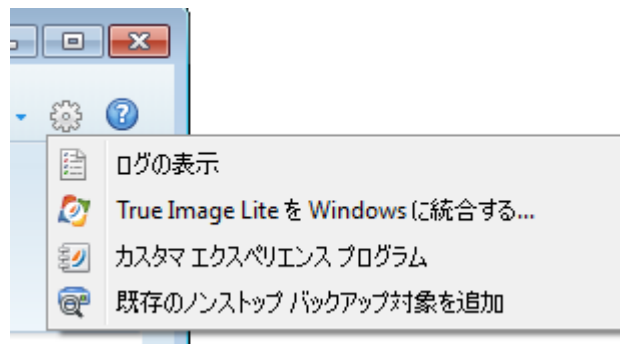
## 2.2 通知領域のアイコン

ほとんどの処理の実行中には、特別なインジケータ アイコンが Windows のタスクトレイ(ステータス バーの右側にある時計が配置されている箇所)に表示されます。アイコンの上にマウスを置くと、処理の進行状況または状態を示すツールのヒントが表示されます。アイコンを右クリックすると、ショートカット メニューが開き、処理の状態を変更したり必要に応じて処理をキャンセルしたりすることができます。このアイコンは、メイン プログラム ウィンドウが開いていなくても表示されます。スケジュールされたバックアップがバックグラウンドで実行されているときにも表示されます。



## 2.3 [設定] メニュー

[設定] メニューでは、True Image Lite 2013 の設定を行ったり変更したりできます。メニューを開くには、プログラム画面の右上にある歯車アイコンをクリックします。



[設定] メニューには次の項目があります。

- **[ログの表示]:** True Image Lite 2013 で実行した処理のログを開きます。
- **[True Image Lite を Windows に統合する]:** Acronis コンポーネントの Windows への統合を選択できるようにします。
- **[カスタム エクスペリエンス プログラム]:** Acronis カスタム エクスペリエンス プログラムに参加したり退会したりできます。プログラムの詳細については、開いたウィンドウで **[詳細]** リンクをクリックします。
- **[既存のノンストップ バックアップを追加]:** コンピューターでノンストップ バックアップを参照し、バックアップ リストに追加できます。この項目は、バックアップリストには表示されない、Acronis True Image Home で作成したバックアップが存在する場合に便利です。

### 2.3.1 統合の設定

Windows に統合する必要がある Acronis コンポーネントを選択できます。

- **[プロパティ] ウィンドウの [Acronis リカバリ] タブ**

**[Acronis リカバリ]** タブを **[プロパティ]** ウィンドウに追加するには、この項目を選択します。ウィンドウを開くには、Windows エクスプローラで、必要なファイルまたはフォルダを右クリックし、**[プロパティ]** をクリックします。**[Acronis リカバリ]** タブでは、選択したファイルやフォルダのバージョンを表示しリカバリできます。

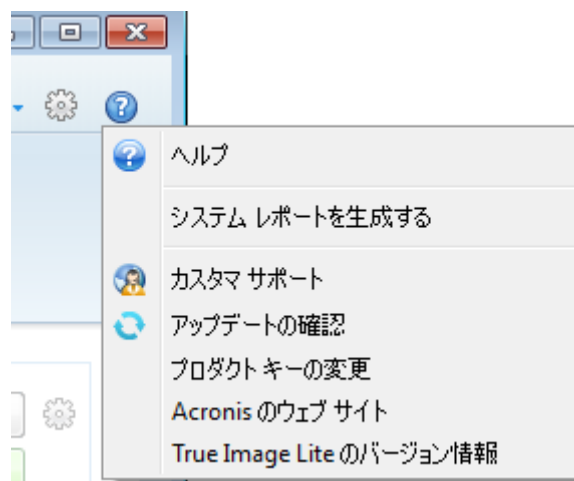
Acronis ノンストップ バックアップで保護されているファイルまたはフォルダの名前を変更すると、名前を変更されたファイルやフォルダのバージョンは、**[Acronis リカバリ]** タブに表示されなくなります。ある程度時間が経過すると、それらのバージョンが再び表示されるようになります。

#### ■ ショートカット メニュー コマンド

Windows エクスプローラで、ファイル、フォルダ、パーティションまたはディスクを右クリックすると、ショートカット メニューが開きます。このメニューには、Windows コマンドと共に、**[バックアップ]**、**[Acronis リカバリ]** など Acronis のコマンドが表示される場合があります。

## 2.4 [ヘルプ] メニュー

[ヘルプ] メニューを使用すると、ヘルプを開く、一定の操作を実行する、製品のビルド番号を参照する、などの操作を実行できます。このメニューを開くには、画面の右上隅の疑問符のアイコンをクリックします。



[ヘルプ] メニューには、次の項目が表示されます。

- **[ヘルプ]** - ヘルプを開きます。
- **[システム レポートを生成する]** - クリックすると、Acronis システム レポートが生成されて Acronis のカスタマ サポートに送信されます。
- **[カスタマ サポート]** - Acronis のカスタマ サポートのウェブ ページに移動します。
- **[アップデートの確認]** - クリックすると、True Image Lite 2013 のアップデート ファイルがあるかどうかをチェックします (また、**[起動時にアップデートを自動確認]** チェック ボックスをオン/オフにすると、自動チェックを有効/無効にできます)。
- **[プロダクト キーを変更する]** - 製品のプロダクト キーを変更するときにクリックします。
- **[製品版にアップグレードする]**: 試用版の使用中に、製品版を購入するときにクリックします。
- **[Acronis のウェブサイト]** - Acronis のウェブサイトに移動します。
- **[True Image Lite のバージョン情報]** - True Image Lite 2013 に関する情報 (製品のプロダクト キーやビルド番号など) を表示します。



## 3 Acronis ノンストップ バックアップ

### セクションの内容

Acronis ノンストップ バックアップとは .....	17
ノンストップ バックアップの作成方法 .....	18
データのリカバリ .....	21
バックアップとバックアップ バージョンの削除 .....	29
ノンストップ バックアップ - FAQ .....	29

### 3.1 Acronis ノンストップ バックアップとは

Acronis ノンストップ バックアップを利用すると、ファイルとフォルダを簡単に保護することができます。個々のファイルや別のバージョンをリカバリすることができます。

---

外付けハード ドライブに保存されたデータの保護に Acronis ノンストップ バックアップを使用することはできません。

---

#### 動作

Acronis ノンストップ バックアップを起動すると、保護対象として選択されているデータの、最初の完全バックアップが実行されます。Acronis ノンストップ バックアップは保護対象のファイル(開いているファイルを含む)の変更を 5 分ごとに保存します。そのため、データを保存された時点とまったく同じ状態にリカバリできます。

通常、保護対象データの各状態は、24 時間 5 分間隔でバックアップされます。

それよりも古いバックアップは日単位で統合され、過去 30 日分が保持されます。また、週単位のバックアップは、ノンストップ バックアップ データの保存先に空きがある限り保持されます。

最後のバックアップから 5 分間の間に何も変更されない場合、スケジュールされている次のバックアップはスキップされます。Acronis ノンストップ バックアップは、データが大幅に変更されるまで待機し、データが大幅に変更されたことを検出すると新しいバックアップのバージョンを作成します。その場合、実際の間隔は 5 分間より長くなります。さらに、たとえば Word で作業中に [保存] オプションを 1 時間使用しなかった場合、Word 文書の変更が 5 分ごとにバックアップされることはありません。これは、True Image Lite 2013 が、メモリ内ではなくディスクでファイルの変更をチェックするためです。

統合は、深夜 0 時から午前 1 時の間に毎日実行されます。最初の統合は、ノンストップ バックアップを開始した後、少なくとも 24 時間経ってから実行されます。たとえば、ノンストップ バックアップを 7 月 12 日の午前 10 時にオンにしたと仮定します。この場合、最初の統合は、7 月 14 日の深夜 0 時から午前 1 時の間に実行されます。これ以降、データの統合は、毎日同じ時刻に実行されます。午前 00:00 から 01:00 の間にコンピュータの電源が入っていない場合は、コンピュータを起動したときに統合が開始されます。ノンストップ バックアップを一時的に無効にした場合は、次に有効したときに統合を開始します。

このバックアップ頻度ではストレージはすぐにいっぱいになると思われるかも知れません。しかし、True Image Lite 2013 は「デルタ」と呼ばれるもののみをバックアップするため、その心配はありません。これは、変更があったファイルのファイル全体ではなく、古いバージョンと新しいバージョンの相違点のみがバックアップされることを意味します。たとえば、Microsoft Outlook または

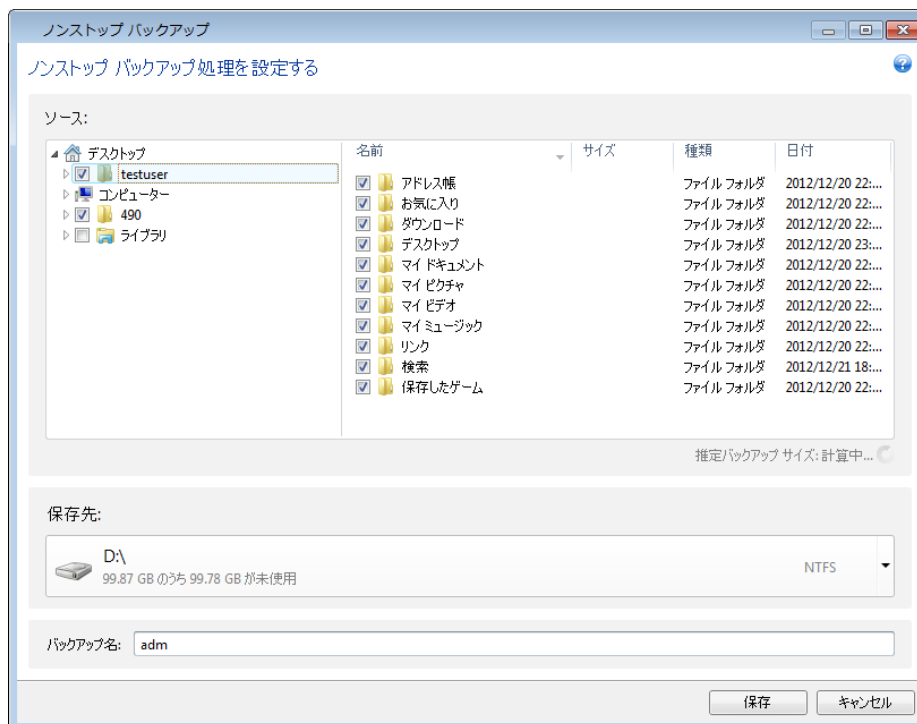
Windows メールを使用している場合、pst ファイルのサイズが非常に大きい場合があります。また、電子メールを受信または送信するたびにファイルの内容が変わります。変更があるたびに pst ファイル全体をバックアップすると保存領域を消費しすぎるため、True Image Lite 2013 は最初にバックアップしたファイルと共に、変更された部分のみをバックアップします。

## 3.2 ノンストップ バックアップの作成方法

ノンストップ バックアップを使用してデータを保護する方法をみましょう。

データを継続的に保護する手順は、次のとおりです。

1. True Image Lite 2013 を起動し、**[ローカル ノンストップ バックアップ]** をクリックします。**[ノンストップ バックアップ]** ウィンドウが開きます。



2. ディレクトリ ツリーでノンストップ バックアップで保護する項目を選択します。右側には、項目の内容と、選択されたすべてのファイルおよびサブフォルダが表示されます。ディレクトリ ツリーでは、保護する必要がないファイルの選択を解除することもできます。より多くの項目を保護する必要がある場合は、同じ方法でディレクトリ ツリー上の項目をさらに選択します。
3. ノンストップ バックアップの保存先を選択します（デフォルトのバックアップ先のままにするか、現在のバックアップ先をクリックした後で、任意のバックアップ先を参照することが可能です。ドロップダウン リストから、適切なバックアップ先を選択します）。ノンストップ バックアップ ストレージの選択および管理の詳細については、「Acronis ノンストップ バックアップのデータ ストレージ」を参照してください。
4. ノンストップ バックアップにはデフォルトの名前が付けられます。ただし、別の名前を付ける場合は、**[バックアップ名]** フィールドに名前を入力します。
5. 選択したデータの保護を直ちに開始するには、**[今すぐ開始]** ボタンをクリックします。

ノンストップ バックアップの設定は、いつでも変更が可能です。この手順を実行するには、ノンストップ バックアップのボックスで歯車アイコンをクリックし、**[処理]** メニューで **[設定の編集]** を選択しま

す。**[保存]** ボタンをクリックして、編集したノンストップ バックアップの設定を保存します。ノンストップ バックアップは直ちに新しい設定で動作を開始します。ノンストップ バックアップの保存先を変更した場合、新しいノンストップ バックアップ ストレージ上に、保存対象のデータの新しい完全バックアップが作成されます。

### 3.2.1 Acronis ノンストップ バックアップのデータ ストレージ

Acronis ノンストップ バックアップのデータ ストレージは、ローカル ハード ディスク ドライブ(内蔵と外付けの両方)に作成できます。

多くの場合、ノンストップ バックアップのデータ ストレージには外付けのハードディスクを使用するのが最も良い方法です。(USB 3.0 を含む)USB、eSATA、FireWire、および SCSI のいずれかのインターフェイスを持つ外付けディスクを使用できます。

NAS をストレージとして使用することもできますが、SMB プロトコルを使用したアクセスが必須になるという制限があります。ストレージに使用する NAS 共有がローカル ディスクとしてマップされるかどうかは問われません。共有にログインが必要な場合は、正確なユーザー名とパスワードを指定する必要があります。詳細については、「認証設定 (20ページ)」を参照してください。True Image Lite 2013 では認証情報が記憶され、共有に対するその後の接続ではログインは必要ありません。

外付けハードディスクまたは NAS を使用できない場合は、ノンストップ バックアップを内蔵ディスク(ダイナミック ディスクを含む)に保存することができます。保護されているパーティションは、ノンストップ バックアップのストレージとして使用することはできないので注意してください。

True Image Lite 2013 は、Acronis ノンストップ バックアップのデータ ストレージを作成する前に、選択した保存先に十分な空き容量があるかどうか確認します。保護するデータ量に 1.2 が乗算され、この乗算の計算結果の値と使用可能な容量が比較されます。保存先の空き容量がこの条件を満たした場合に、そのロケーションをノンストップ バックアップ データの保存先として使用します。

Acronis ノンストップ バックアップ データ ストレージがいっぱいになったら、現在のストレージをクリーンアップするか別のストレージを設定することができます。詳細については、「ノンストップ バックアップ ストレージがいっぱいになったときはどうすればよいですか? (20ページ)」を参照してください。

#### バックアップの保存場所の決定

True Image Lite 2013 では、さまざまなストレージ デバイスがサポートされています。詳細については「サポートされるストレージ メディア」を参照してください。サポートされている保存場所について、以下で説明します。

#### ハードディスク ドライブ

現在はハードディスクが安価になっているため、ほとんどの場合、外付けハード ドライブを購入してバックアップを保存する方法が最適です。外部ドライブを使用すると、データをオフサイト(たとえば、仕事場のコンピュータのバックアップを自宅に、またはその逆)で保持できるため、データのセキュリティが強化されます。コンピュータの設定ポートと必要なデータ転送速度に応じて、USB、FireWire、eSATA など、さまざまなインターフェイスを選択できます。多くの場合(特にご使用のコンピュータで USB 3.0 がサポートされている場合)、USB の外付けハードディスク ドライブが最善の選択と言えるでしょう。

デスクトップ PC で USB の外付けハードディスク ドライブを使用する場合は、短いケーブルを使用して背面のコネクタにドライブを接続すれば最も動作の信頼性が高くなります。この方法を使用すると、バックアップ/リカバリ時のデータ転送エラーの可能性が低くなります。

## NAS や NDAS などのホーム ファイル サーバー

Gigabit Ethernet ホーム ネットワーク、および専用のファイル サーバーや NAS をお持ちの場合は、(内蔵ドライブと同様に)ファイル サーバーや NAS にバックアップを保存することができます。

NAS、NDAS などの外付けハード ディスク ドライブを使用する場合は、選択したバックアップ ストレージが True Image Lite 2013 によって認識されるかどうかをチェックする必要があります。

NDAS 対応のストレージ デバイスにアクセスするには、多くの場合 NDAS デバイス ID(20 文字)と書き込みキー(5 文字)を指定する必要があります。書き込みキーを使用すると、NDAS が有効なデバイスを書き込みモード(バックアップの保存など)で使用できます。通常、デバイス ID と書き込みキーは NDAS デバイスの底面のステッカーまたはエンクロージャの内側に記載されています。ステッカーが見つからない場合は、NDAS デバイスの製造元に問い合わせるこの情報を入手してください。

## 認証設定

ネットワークのコンピュータに接続するほとんどの場合では、ネットワーク共有にアクセスするために必要なログイン情報を入力する必要があります。たとえば、**[保存先を参照する]** ウィンドウでバックアップ ストレージを選択する場合などがあります。ネットワーク コンピュータの名前をクリックすると、**[認証設定]** ウィンドウが自動的に表示されます。手動で開くには、ツールバーの **[この場所のログイン情報を指定してください]** をクリックします。

ユーザー名とパスワードを指定する方法は、次のとおりです。

- **[ユーザー名]** - ユーザー名を入力します。
- **[パスワード]** - ユーザーのパスワードを入力します。

**[接続のテスト]** ボタンをクリックすると、選択したネットワーク共有への接続が試行されます。エラーメッセージが表示される場合は、ログイン情報が正しいか確認し、選択したネットワーク共有用の正しいユーザー名とパスワードを入力します。接続試行を繰り返すには、**[再テスト]** ボタンをクリックします。

必要な情報を入力したら、**[接続]** をクリックします。

## ノンストップ バックアップ ストレージがいっぱいになったときはどうすればよいですか？

Acronis ノンストップ バックアップのデータ ストレージの空き領域は、一定時間が経過すると必然的になくなります。この時間は、選択したノンストップ バックアップの保存先と、Acronis ノンストップ バックアップによって保護されるデータの量や構成により異なります。

## 別のストレージの設定

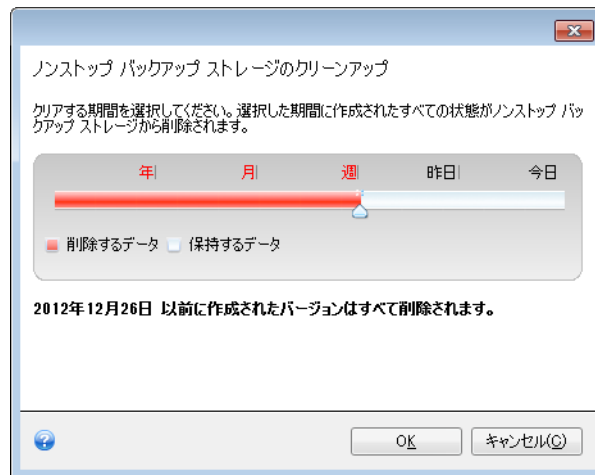
ストレージの空き容量が 200 MB 以下になると、アラート メッセージが表示されます。この場合は、別の保存先を選択すれば、それまでにバックアップしたデータが失われることはありません。古いストレージにバックアップしたデータをリカバリできます。新しい保存先を選択すると、True Image Lite 2013 によって、ノンストップ バックアップの保護対象として選択したデータの新しい完全バックアップが作成されるので注意してください。

## 既存のストレージのクリーンアップ

Acronis ノンストップ バックアップのストレージを管理するもう 1 つの方法は、不要になったバックアップ バージョンを削除することです。

ストレージをクリーンアップする手順は、次のとおりです。

1. ノンストップ バックアップ ボックスで歯車のアイコンをクリックし、**[クリーンアップ]** を選択します。
2. 開かれたウィンドウで、特定の期間を選択してその期間中に作成されたバックアップ バージョンを削除することを指定し、**[OK]** をクリックします。



---

クリーンアップできるのは、アクティブな Acronis ノンストップ バックアップのストレージのみです。

---

ノンストップ バックアップのボックスの **[処理]** メニューで **[削除]** を選択し、Acronis ノンストップ バックアップのストレージを完全にクリーンアップすることもできます。アクティブなノンストップ バックアップのボックスを選択すると、削除によって Acronis ノンストップ バックアップの処理が停止します。

## 3.3 データのリカバリ

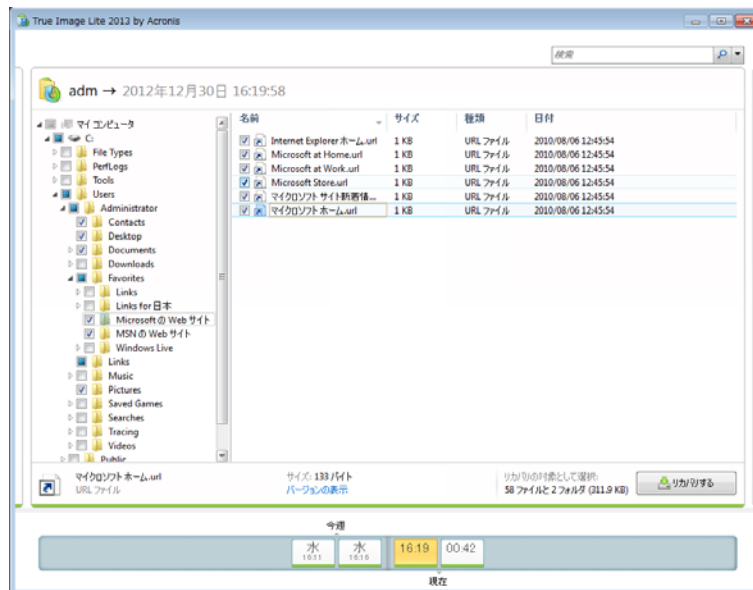
データ バックアップの目的は、ハードウェア障害、火災、盗難、または誤ったファイルの削除によって元のデータが失われた際に、バックアップされたデータをリカバリすることです。

True Image Lite 2013 のバックアップ機能を使用して、データをバックアップすることをお勧めします。バックアップがあれば安心です。

次のセクションでは、ノンストップ バックアップからファイルやフォルダをリカバリする方法について説明します。これを行うには、Acronis Backup Explorer を使用します。

### 3.3.1 Acronis Backup Explorer

Acronis Backup Explorer では、バックアップのバージョン番号、日付、コンテンツ、バックアップの結果などのノンストップ バックアップに関する多くの情報を参照できます。さらに、Backup Explorer を使用して、バックアップしたデータを参照してリカバリできます。



このウィンドウには、現在のバックアップ バージョンが作成された時点でのファイルおよびフォルダの状態が表示されます。各バックアップ バージョン間を切り替えるには、画面下部のタイム ラインを使用します。タイム ラインの使用の詳細については、「タイム ライン (23ページ)」を参照してください。

バージョンを切り替えるときに、選択したバックアップ バージョンに含まれるバックアップ済みのファイルとフォルダが表示されます。このタブの左側の領域にはディレクトリ ツリー、右側の領域には選択したディレクトリ ツリー項目の内容が表示されます。

#### データのリカバリ

ファイルやフォルダをリカバリする手順は、次のとおりです。

1. タイム ラインで、ファイルやフォルダをリカバリするバックアップ バージョンを選択します。  
バックアップ名の近くにバージョンの正確な日時が表示されます。データは、この時点の状態にリカバリされます。
2. リカバリするファイルおよびフォルダに対応するチェック ボックスをオンにします (以下の選択ルールを参照してください)。**[リカバリする]** ボタンの近くに、選択した項目に関する簡単な説明 (項目の数と合計サイズ) が表示されます。
3. **[リカバリする]** ボタンをクリックします。

ファイルおよびフォルダのリカバリは、ファイルやフォルダをデスクトップにドラッグするか、Windows エクスプローラ内の選択したフォルダにドラッグすることによっても行うことができます。

---

ファイルを FTP、書き込み可能な CD/DVD などの光学メディア、およびマウント済みの ISO ファイルにドラッグしてファイルをリカバリすることはできません。

---

#### ファイル バージョンのリカバリ

項目をクリックすると、この項目に関する簡単な説明がブラウザ領域の下に表示されます。表示されるパラメータの組み合わせは、項目の種類によって異なります。[バージョンの表示] リンクをクリックすると、[バージョンの表示] ウィンドウが開き、バックアップ内のファイル バージョンすべての一覧が表示されます。目的のバージョンを、そのバックアップ時間に基づいてリカバリできます。

右側の領域にあるファイルをダブルクリックすると、そのファイルが一時フォルダにリカバリされます。次に、関連付けられているアプリケーションでファイルが開かれます。

## 選択ルール

各項目に対応するチェック ボックスは、次のいずれかの状態で表示されています。

- **オン** (四角にチェック マークが付きます) - この状態は、その項目がリカバリ対象として選択されていることを示します。フォルダが選択されている場合は、そのフォルダ内のすべての項目が選択されていることを意味します。
- **オフ** (四角には何も表示されません) - この状態は、その項目が選択されていないことを示します。
- **混在** (四角が塗りつぶされます) - これはフォルダ内に選択された項目と選択されていない項目があることを示します。チェック ボックスをクリックしてこの状態に設定することはできませんが、オフまたはオンの状態に変更することは可能です。

---

リスト内でファイルまたはフォルダを選択しただけでは、リカバリ対象とはならないのでご注意ください。

---

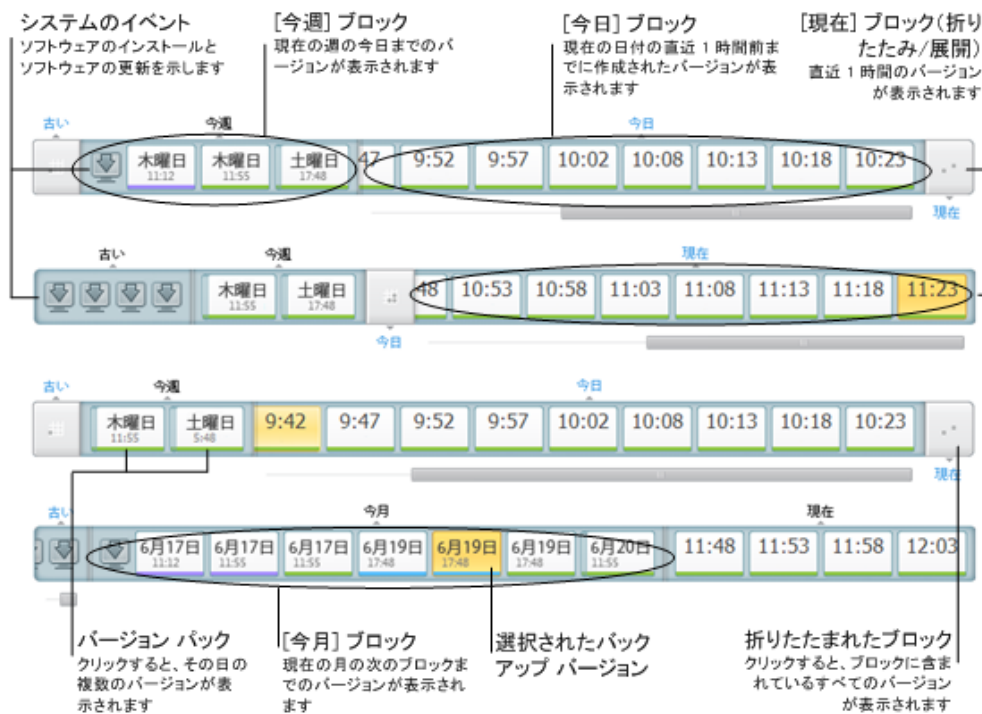
## 検索

リカバリする必要があるファイルまたはフォルダを検索するには、[検索] フィールドにファイルまたはフォルダの名前を入力します。詳細については、「[ノンストップ バックアップ内の検索 \(26ページ\)](#)」を参照してください。

## タイム ライン

通常、Acronis Backup Explorer の画面下部にあるタイム ラインには、選択したバックアップに保存されているバックアップ バージョンに関する情報が表示されます。タイム ラインを利用すれば、各バックアップ バージョンを簡単に参照でき、データを特定の日時における状態にリカバリできます。

次の図には、タイム ラインの各状態が示されています。タイム ラインの状態は、バックアップの数と、参照する時間間隔によって変化します。



時間間隔 [現在] には、直近 1 時間の間に作成されたバックアップ バージョンが表示されます。

時間間隔 [今日] には、現在の日付の開始から直近 1 時間までに作成されたバックアップ バージョンが表示されます。

時間間隔「週」の表示は [1 週間前] または [今週] のどちらかになります。

現在の日付が月曜日、火曜日、または水曜日の場合、時間間隔「週」の表示は、[1 週間前] となります。その場合、タイム ラインには、前の週に作成されたバックアップ バージョンと、現在の週の頭から今日の始まりまでに作成されたバックアップ バージョンが表示されます。

現在の日付が木曜日、金曜日、土曜日、または日曜日の場合、時間間隔「週」の表示は、[今週] となります。その場合、タイム ラインには、現在の週の頭から今日の始まりまでに作成されたバックアップ バージョンが表示されます。

時間間隔「月」の表示は、[1 カ月前] または [今月] のどちらかになります。

現在の日付がその月の 1~15 日までの場合、時間間隔「月」の表示名は、[1 カ月前] となります。その場合、タイム ラインには、前の月に作成されたバックアップ バージョンと、現在の月の頭から時間間隔「週」までの間に作成されたバックアップ バージョンが表示されます。

現在の日付が月の 16~31 日までの場合、時間間隔「月」の表示は、[今月] となります。その場合、タイム ラインには、現在の月の頭から時間間隔「週」までの間に作成されたバックアップ バージョンが表示されます。

時間間隔 [今年] には、現在の年の頭から時間間隔「月」までの間に作成されたバックアップ バージョンが表示されます。



時間間隔 [古い] では、現在の年の頭より前に作成されたバックアップ バージョンが表示されません。

## 時間間隔とバックアップ バージョンの操作

時間間隔は、展開されている(バックアップ バージョンの数がタイム ラインに収まる場合)場合と、四角いブロックに折りたたまれている場合があります。時間間隔が展開されている場合、バックアップ バージョンを表す各四角の中に、警告アイコンまたはエラー アイコンが表示されていることがあります。このアイコンは、バージョンの作成中に警告またはエラーがログに書き込まれたことを示しています。

時間間隔「週」、「月」、「年」、または「過去」の間の、ある 1 日に、複数のバックアップ バージョンが作成された場合、そのような日付はバージョン パック アイコンによってタイム ライン上に表示されます。

折りたたまれたブロックにマウスを 0.5 秒以上ホバーすると、時間間隔の開始点、終了点、およびその時間間隔の中に含まれるバックアップの数に関する情報が、バルーンに表示されます。

展開されたバックアップ バージョンにマウスを 0.5 秒以上ホバーすると、バックアップ バージョンの詳細がバルーンに表示されます。

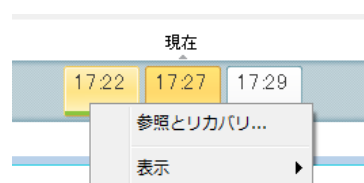
折りたたまれたブロック、またはタイム ラインの上または下に表示されているブロックの名前をクリックすると、対応する時間間隔が展開されます。時間間隔内のバックアップ バージョンの数が多すぎてタイム ラインに収まらない場合、水平スクロール行を使用して、その時間間隔内のバックアップ バージョンを参照できます。

別の折りたたまれたブロックを選択し、新たに展開したブロックの全バックアップ バージョンを表示する領域が足りない場合は、現在展開されているブロックが折りたたまれます。

バックアップ エクスプローラで、バックアップ バージョンをクリックして選択します。

## ショートカット メニュー

タイム ラインを右クリックすると、ショートカット メニューが開きます。

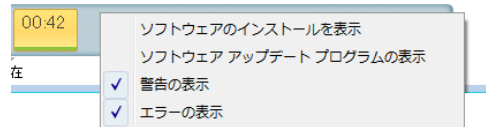


メニューの内容は、選択した項目によって変わります。

- **[参照とリカバリ]**(バックアップのバージョンで使用できます)。
- **[展開]**(折りたたまれたバージョン パックとタイム ブロックで使用できます)。

## タイム ラインに関する追加情報の表示

タイム ラインを設定して、追加情報を表示することも可能です。対応するコマンドは、**[表示]** サブメニューから実行できます。**[表示]** サブメニューを開くには、バックアップ バージョンを右クリックするか、タイム ラインの空き領域を右クリックします。



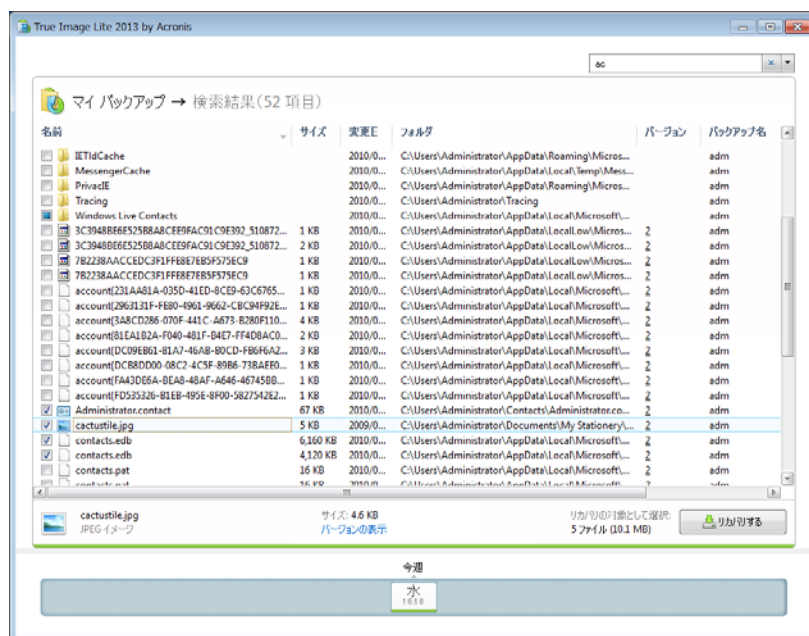
- **[ソフトウェアのインストールを表示]**- この項目を選択すると、タイム ライン上に、コンピュータに新しいプログラムがインストールされた時期を示すアイコンが表示されます。
- **[ソフトウェア アップデートプログラム の表示]** - この項目を選択すると、タイム ライン上に、Windows およびコンピュータにインストールされているプログラムのアップデート プログラムを示すアイコンが表示されます。
- **[警告の表示]** - この項目を選択すると、タイム ライン上に、停止したバックアップ バージョン、または警告メッセージを表示して完了したバックアップ バージョン(デフォルトで選択されています)がすべて表示されます。
- **[エラーの表示]** - この項目を選択すると、タイム ライン上に、失敗したバックアップ バージョンと、エラーが発生して終了したバックアップ バージョンが表示されます。

## ノンストップ バックアップ内の検索

True Image Lite 2013 では、ノンストップ バックアップの検索に加えて、すべてのバージョンのバックアップ内のファイルを検索することができます。

True Image Lite 2013 は、ネットワーク共有、Acronis Cloud、および Windows で **[リムーバブル記憶域があるデバイス]** として認識されるデバイスは検索できません。

バックアップ エクスプローラ ウィンドウの右上にある **[検索]** フィールドに検索文字列を入力します。検索結果が表示されます。



ファイル名をダブルクリックすると、そのファイルが開きます。ファイル名を右クリックしてショートカットメニューで **[リカバリする]** を選択すると、ファイルをリカバリすることができます。このショートカットを使用して、ファイルを開いたり、そのバージョンを表示したりすることもできます。

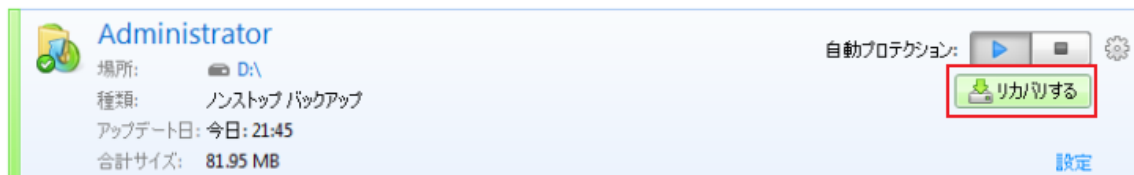
バックアップにあるファイルを検索する際には、ファイル名の全部または一部を入力します。一般的な Windows のワイルドカード文字を使用することもできます。たとえば、バックアップにあるすべてのバッチ ファイルを検索するには、「\*.bat」と入力します。「my???.exe」と入力すると、「my」で始まる 5 文字の名前を持つ拡張子 .exe のすべてのファイルを検索できます。検索では大文字と小文字が区別されないため、「Backup」と「backup」は同じ検索文字列とみなされます。

### 3.3.2 ファイルとフォルダのリカバリ

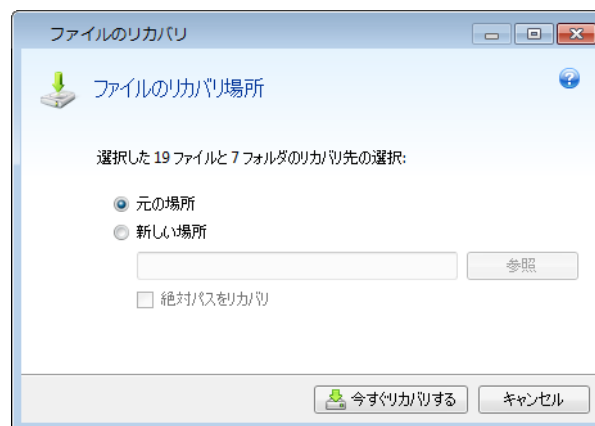
通常、ファイルおよびフォルダのリカバリは、Acronis Backup Explorer で開始します。特定のバージョンをリカバリする場合は、**[バージョンの表示]** ウィンドウからリカバリの手順を開始します。いずれの場合でも、リカバリを開始すると、**[ファイルのリカバリ]** ウィンドウが開きます。

バックアップ エクスプローラでのファイルおよびフォルダのリカバリについて説明します。

1. True Image Lite 2013 を起動します。
2. リカバリするファイルとフォルダが含まれるノンストップ バックアップを見つけます。対応するボックスで、**[リカバリ]** をクリックします。



3. バックアップ エクスプローラで、リカバリするファイルおよびフォルダを選択します。選択ルールの詳細については、「Acronis Backup Explorer (22ページ)」を参照してください。**[リカバリ]** をクリックしてリカバリを開始します。**[ファイルのリカバリ]** ウィンドウが開きます。



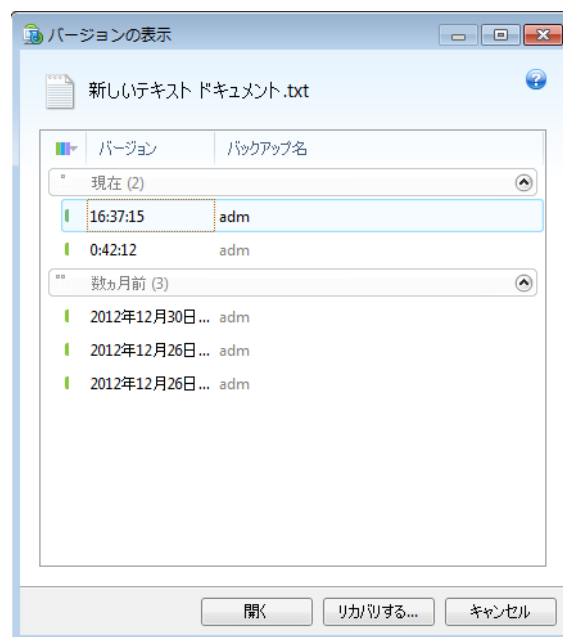
4. 選択したファイルまたはフォルダをリカバリするコンピュータ上のリカバリ先を選択します。元のロケーションにデータをリカバリすることができます。また、必要に応じて新しいロケーションを選択することもできます。新しいロケーションを選択するには、**[参照]** ボタンをクリックします。
5. 新しいロケーションを選択した場合、デフォルトでは、元の絶対パスはリカバリせずに、選択した項目がリカバリされます。項目をフォルダ構造全体と共にリカバリすることもできます。その場合は、**[絶対パスをリカバリ]** チェック ボックスをオンにします。

6. リカバリ処理を開始するには、**[今すぐリカバリする]** ボタンをクリックします。
7. リカバリの進行状況が別ウィンドウに表示されます。**[キャンセル]** をクリックすると、リカバリは中止されます。中止したリカバリによってリカバリ先のフォルダが変更されている場合があります。

### 3.3.3 ファイル バージョンのリカバリ

ファイルの特定バージョンをリカバリする必要がある場合、バックアップ エクスプローラでファイルを選択します。ファイルを選択すると、ファイル サイズ情報の下に **[バージョンの表示]** リンクが表示されます。リンクをクリックすると、**[バージョンの表示]** ウィンドウが開き、バックアップ内のファイルバージョンすべての一覧が表示されます。

ファイルのバージョンを選択するまで、**[開く]** および **[リカバリする...]** ボタンは利用可能になりません。ファイル バージョンを選択すると、ボタンは有効になります。



バックアップ時刻に基づいて必要なバージョンを選択し、**[リカバリする...]** をクリックします。**[ファイルのリカバリ]** ウィンドウが開きます。リカバリ先を選択し、選択したフォルダにファイル バージョンをリカバリします。詳細については、「ファイル レベルのバックアップからデータをリカバリする」を参照してください。

Windows エクスプローラで選択したフォルダにバージョンをドラッグしてリカバリすることも可能です。

正しいバージョンを選択するには、関連するアプリケーションでバージョンを開き、ファイルの内容を表示します。バックアップ時刻に基づいてバージョンを選択してから、**[開く]** ボタンをクリックします。True Image Lite 2013 によってファイル バージョンが一時フォルダにリカバリされます。次に、関連付けられているアプリケーションによってファイルが開きます。

## 3.4 バックアップとバックアップ バージョンの削除

不要になったバックアップやバックアップ バージョンは削除することができます。True Image Lite 2013 は、バックアップに関する情報をメタデータ情報データベースに保存します。

このため、不要なバックアップ ファイルを Windows エクスプローラで削除しても、そのバックアップに関する情報はデータベースからは削除されず、True Image Lite 2013 からはそれらがまだ存在しているものと見なされます。

その結果、既に存在していないバックアップに対してもプログラムが処理を実行しようとして、エラーが発生します。このため、必要のなくなったバックアップやバックアップ バージョンを削除するときは、必ず True Image Lite 2013 のツールを使用してください。

**バックアップ全体を削除する手順は、次のとおりです。**

対応するバックアップのボックスで歯車アイコンをクリックすると [処理] メニューが表示されます。そこで、[削除] を選択します。

バックアップ全体を削除すると、すべてのバージョンも削除されます。

**バックアップ バージョンを削除する手順は、次のとおりです。**

1. ノンストップ バックアップ ボックスで歯車のアイコンをクリックし、[クリーンアップ] を選択します。
2. 開かれたウィンドウで、特定の期間を選択してその期間中に作成されたバックアップ バージョンを削除することを指定し、[OK] をクリックします。

詳細については、「ノンストップ バックアップ ストレージがいっぱいになったときはどうすればよいですか？ (20ページ)」を参照してください。

## 3.5 ノンストップ バックアップ - FAQ

**Acronis ノンストップ バックアップが一時停止する理由は何ですか？** - これは、Acronis ノンストップ バックアップの設計による動作です。システムの負荷が重大レベルに達すると、Acronis ノンストップ バックアップは Windows から過負荷アラームを受信して自動的に一時停止します。これは、他のアプリケーションによる Windows の負荷を軽減する役割を果たします。過負荷は、多くのリソースを必要とするアプリケーションを実行することにより発生する場合があります(ウィルス対策ソフトウェアによるシステム完全スキャンの実行など)。

このような場合、ノンストップ バックアップは自動的に一時停止し、ユーザーが再起動することはできません。一時停止されると、1 時間後にシステムの負荷が軽減されてから再起動が試行されます。

Acronis ノンストップ バックアップの自動再起動は 6 回試行されます。つまり、最初の自動再起動の後、Acronis ノンストップ バックアップは、1 時間ごとに、5 回再起動を試行します。

試行が 6 回失敗したら、Acronis ノンストップ バックアップは次の設定日まで待機します。翌日、自動再起動の回数が自動的にリセットされます。中断されなければ、Acronis ノンストップ バックアップは 1 日に 6 回再起動を試行します。

再起動試行回数は、次のいずれかを実行することでリセットできます。

- Acronis ノンストップ バックアップ サービスの再起動

## ■ コンピュータの再起動

Acronis ノンストップ バックアップ サービスを再起動しても、再起動の試行回数が 0 にリセットされるだけです。システムが依然として過負荷の状態にある場合、Acronis ノンストップ バックアップ は再び一時停止になります。Acronis ノンストップ バックアップ サービスを再起動する手順については、Acronis サポート ナレッジ ベースの記事(<http://forum.acronis.com/forum/14958>)で説明しています。

コンピュータを再起動すると、負荷および再起動回数がリセットされます。システムが再度過負荷状態になると、Acronis ノンストップ バックアップ は一時停止します。

**Acronis ノンストップ バックアップ を実行するときに CPU の負荷が高くなる場合があります。どうしてですか？** - これは、Acronis ノンストップ バックアップ の設計による動作です。Acronis ノンストップ バックアップ の一時停止中に、大量の保護対象データが変更された場合、一時停止から再起動するときに発生することがあります。

たとえば、システム パーティションを保護するために使用している Acronis ノンストップ バックアップ を手動で一時停止してから新しいアプリケーションをインストールするとします。この場合、Acronis ノンストップ バックアップ を再起動したとき、しばらく CPU に負荷がかかります。ただし、処理 (afcdpsrv.exe) は正常に戻ります。

これは、データが継続的に保護されていることを確認するために、Acronis ノンストップ バックアップ が、バックアップされたデータを一時停止中に変更されたデータと比較してチェックする必要があります。変更されたデータが大量にある場合、処理にしばらく時間がかかり、CPU の負荷が高くなる場合があります。チェックが終了し、変更されたデータがすべてバックアップされた後、Acronis ノンストップ バックアップ は正常に戻ります。

**Acronis ノンストップ バックアップ ストレージは、ローカル ハード ディスクの FAT32 パーティションでも利用できますか？** - はい。FAT32 パーティションをストレージとして利用できます。

**Acronis ノンストップ バックアップ ストレージは、ネットワーク共有や NAS で設定できますか？** - はい、Acronis ノンストップ バックアップ は、ネットワーク共有、マップされたドライブ、NAS、およびその他のネットワーク接続デバイスをサポートします。ただし、制限事項として、これらは SMB プロトコルを使用する必要があります。

**Acronis ノンストップ バックアップ ストレージを手動でクリーンアップする方法を教えてください。** - 一定期間のバックアップ データを削除することにより、Acronis ノンストップ バックアップ ストレージをクリーンアップできます。たとえば、システム パーティションの Acronis ノンストップ バックアップ を 2011 年 8 月 15 日に開始した場合、パーティションはその日から保護されています。今日が 2011 年 12 月 15 日で、Acronis ノンストップ バックアップ ストレージの容量がほぼいっぱいになっていると仮定します。ストレージ領域をいくらか解放するために不要なデータをクリーンアップします。このストレージをクリーンアップするには、ノンストップ バックアップ のボックスで歯車アイコンをクリックして [処理] メニューを開き、[クリーンアップ...] を選択します。期間を選択するためのウィンドウが表示されます。ここで指定した期間内に作成されたバックアップ バージョンが削除されます。9 月 1 日から 12 月 1 日の期間にシステムに重要な変更は加えなかったとします。期間を選択して、[OK] をクリックします。プログラムは、選択された期間中に作成されたバックアップ バージョンをすべて削除し、一貫性を維持するために残りのバックアップ バージョンを統合します。では、どのデータを削除しどのデータを保持するか、いくつかのケースを検討してみます。最初に、システム ファイル、たとえば、notepad.exe などを考えてみましょう。このファイルは、8 月 15 日の最初の完全バックアップでバックアップされ、それ以来変更されていません。この場合、このファイルはクリーンアップ後にノンストップ バックアップに残ります。ここで、9 月 15 日にゲームをインストールしたと仮定します。何度かプレーした後で、10 月 5 日には、そのゲームをアンインストールし

ました。この場合、ゲームに関連する全ファイルは、ノンストップ バックアップから削除されます。例をもう 1 つ紹介します。11 月 16 日、Microsoft Word を使用して、修士論文を書き始めました。この場合、11 月 16 日から 12 月 1 日までにバックアップされた論文ファイルの全バージョンが削除され、12 月 2 日から当日までのバージョンのみが保持されます。上記をまとめると、選択された期間中に加えられたすべてのデータ変更が失われるということです。8 月 15 日の最初の完全バックアップ以来変更されていないすべてのファイル、および 9 月 1 日以前と 12 月 1 日以後に加えられたデータの変更は保持されます。

**Acronis ノンストップ バックアップを一時停止する方法は？** - ノンストップ バックアップのボックスで歯車アイコンをクリックし、メニューで **[停止]** を選択することで、ノンストップ バックアップを停止できます。ノンストップ バックアップを再開するには、歯車アイコンを再びクリックして、メニューで **[開始]** を選択します。[ノンストップ バックアップ] ボックスで対応するボタンをクリックして、ノンストップ バックアップを一時停止および再開できます。

**Acronis ノンストップ バックアップを停止し、削除するにはどうすればいいですか？** - Acronis ノンストップ バックアップを停止して削除するには、ノンストップ バックアップ ボックスで歯車アイコンをクリックし、メニューで **[削除]** を選択します。この手順で、すべてのノンストップ バックアップ データが削除されます。

## 4 Acronis オンライン バックアップ

### セクションの内容

Acronis Cloud とは.....	32
モバイル デバイス対応 True Image とは .....	32
サブスクリプションを取得する方法.....	33
[サインイン] メニュー .....	34
Acronis Cloud へのバックアップ.....	34
Acronis Cloud からのリカバリ .....	42
オンライン バックアップの管理 .....	43
Acronis Cloud からのデータの削除 .....	44

### 4.1 Acronis Cloud とは

---

Acronis Cloud はお住まいの地域によりサービスがご利用いただけない場合があります。詳細情報については、こちらをご参照ください。<http://kb.acronis.com/content/4541>

---

Acronis Cloud は、データを保存するために使用できるリモート ストレージです。このストレージを使用するために必要なのは、Acronis アカウントだけです。

重要なファイルを安全なリモートのロケーションに保存し、必要に応じてそれらのファイルをリカバリできます。ファイルはリモート ストレージに保管されるので、コンピュータが盗難や火災に遭っても、データは保護されます。そのため、盗難、火災、その他の自然災害によってデータが消失するリスクは、実質的に排除されます。バックアップ イメージ、PC、または外付けストレージ デバイスに問題が発生した場合でも、最も重要なファイルを手に入れることが可能です。コンピュータが異常停止しても、True Image Lite 2013 がインストールされている自分自身の PC または別のシステムに、ファイルをリカバリすることができます。

また、Acronis Cloud は、Acronis Cloud に保存したデータのリカバリと管理に使用できるウェブアプリケーションでもあります。ウェブ ブラウザがインストールされた任意のコンピュータを使用できます。Acronis Cloud を操作するための True Image Lite 2013 または他の Acronis アプリケーションをインストールする必要はありません。

アクロニス ウェブサイト(<https://www.acronis.co.jp/my/online-backup/>)に移動し、マイ アカウントにログインします。サブスクリプション情報ページが開いたら、[データを今すぐリカバリする] をクリックします。Acronis Cloud ページが開いたら、リカバリが必要なファイルが格納されたバックアップまたは同期を選択して、現在のコンピュータにファイルをダウンロードします。

1 つのアカウントで最大 5 台の PC のドキュメント、写真、および音楽などを保存できます。コンピュータがクラッシュしても、問題はありません。別のコンピュータからログインして、ファイルを取得するだけで済みます。

### 4.2 モバイル デバイス対応 True Image とは

---

Acronis Cloud はお住まいの地域によりサービスがご利用いただけない場合があります。詳細情報については、こちらをご参照ください。<http://kb.acronis.com/content/4541>

---



モバイルデバイス用 True Image を使用すると、Acronis Cloud に保存したデータにアクセスし、他のモバイル デバイスやコンピュータとこのデータを同期することができます。モバイル デバイス対応 True Image は、Acronis Cloud がないと使用できないので、最初にこのサービスを申し込む必要があります。

モバイル デバイス対応 True Image を使用して次の操作を実行できます。

- Acronis Cloud にアクセスします。
- ギャラリー(Android)とカメラ ロール(iOS)をデバイス間で同期します。
- ファイルをお気に入り(Android)またはピン設定(iOS)に追加し、最新の状態に維持してオフラインでアクセスできるようにします。
- パブリック リンクを使用して友人とファイルを共有します。
- 新しく作成した写真、ビデオなど、および SD カード内の既存のファイルを Acronis Cloud にアップロードします。

モバイル アプリケーションはどのようなデバイスをサポートしますか？

True Image は、iOS (iPhone、iPad、iPod) および Android (スマートフォンやタブレット) オペレーティング システムがインストールされた任意のモバイル デバイスにインストールすることができます。

これらのアプリケーションはどこで入手できますか？

App Store または Google Play でモバイル デバイス対応の True Image の詳細情報を参照してダウンロードすることができます。

- iOS デバイス用の True Image:  
<https://itunes.apple.com/us/app/true-image/id486764267?mt=8>
- Android デバイス用の True Image:  
[https://play.google.com/store/apps/details?id=com.acronis.acronis&feature=search\\_result#?t=W251bGwsMSwyLDEslmNvbS5hY3JvbmizLmFicm9uaXMiXQ](https://play.google.com/store/apps/details?id=com.acronis.acronis&feature=search_result#?t=W251bGwsMSwyLDEslmNvbS5hY3JvbmizLmFicm9uaXMiXQ)

モバイル アプリケーションの料金はどれくらいですか？

モバイル デバイス対応の True Image は無料で利用できます。

## 4.3 サブスクリプションを取得する方法

Acronis Cloud にバックアップするには、Acronis Cloud サービスのサブスクリプションが必要です。

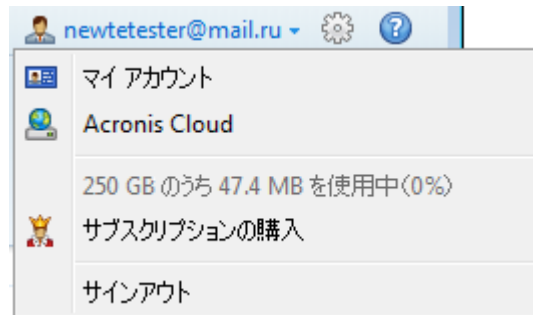
操作を始めるには、最初に Acronis アカウントが必要です。True Image Lite 2013 を初めて実行すると、登録フォームが表示されます。Acronis アカウントをまだお持ちでない場合は、フォームに入力し、**[アカウントの作成]** をクリックします。詳細については、「操作の開始方法 (9ページ)」を参照してください。

True Image Lite 2013 をインストールし、Acronis アカウントにサインインすると、Acronis Cloud の試用版のサブスクリプションが自動的に取得されます。詳細については、「試用版に関する情報 (11ページ)」を参照してください。

製品版のサブスクリプションを取得するには、**[Acronis ストア]** をクリックし、サブスクリプションを選択して支払い情報を入力します。詳細については、「製品版の入手方法 (11ページ)」を参照してください。

## 4.4 [サインイン] メニュー

[サインイン] をクリックすると、Acronis のマイ アカウントにログインするためのウィンドウが表示されます。サインイン後には、[サインイン] 項目は、アカウントの電子メール アドレスに変わります。



マイ アカウントの電子メール アドレスをクリックすると、次の項目を含むメニューが表示されます。

- **[マイ アカウント]** - クリックすると、アカウント情報を表示および変更できる画面に移動します。
- **[Acronis Cloud]** - クリックすると、アクロニス ウェブ サイトのマイ アカウント ページに移動します。  
下の行に、Acronis Cloud の領域の使用率が表示されます。
- **[サブスクリプションの購入]** - クリックすると、サブスクリプションの購入手順が開始されます。
- **[サインアウト]** - クリックすると、現在のアカウントからログアウトします。これは、複数のアカウントがあるときに便利です。

## 4.5 Acronis Cloud へのバックアップ

True Image Lite 2013 では、稼働中のコンピュータに設定できるアクティブなオンライン バックアップは 1 つだけです。Acronis Cloud をサインアウトした後も、バックアップの新しいバージョンが毎時間作成されます。手動で新しいバージョンを作成する必要がある場合、自動保護を再実行してください。これには、オンライン バックアップ ボックスで **[停止]** をクリックしてから **[スタート]** をクリックします。

Acronis Cloud を初めて使用する場合に、オンライン バックアップを設定する方法について説明します。

オンライン バックアップを作成する手順は、次のとおりです。

1. Acronis アカウントの電子メール アドレスとパスワードを入力し、[サインイン] をクリックします。既にアカウントにサインインしている場合は、このウィンドウはスキップされます。登録処理の詳細については、「操作の開始方法 (9ページ)」を参照してください。

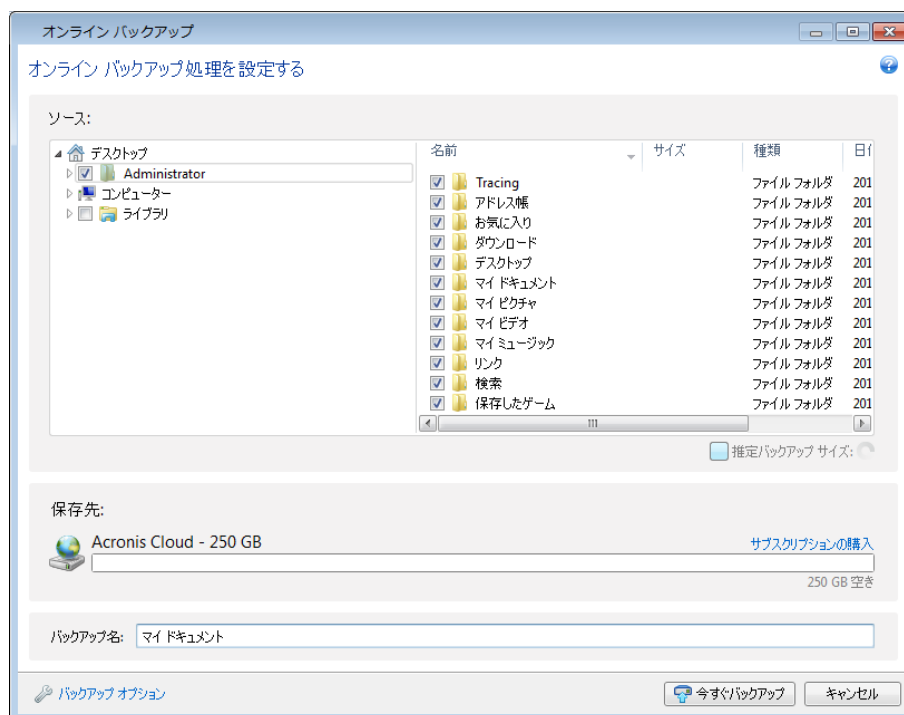
Acronis アカウントでサインインしてください

[アカウントの作成](#)  
[パスワードをお忘れですか？](#)

2. True Image Lite 2013 を起動し、[オンライン ノンストップ バックアップ] をクリックします。



3. 表示されたウィンドウで、対応するチェック ボックスをオンにしてバックアップに含める項目を選択します。



4. (オプションの手順) 隠しファイル、システム ファイル、ユーザーが指定した条件と一致するファイルやフォルダをオンライン バックアップから除外できます。詳細については、「除外 (40ページ)」を参照してください。
5. (オプションの手順) バックアップ先は Acronis Cloud になります。バックアップ先フィールドには、Acronis Cloud 上のストレージ領域の制限と、バックアップ対象データの概算量が表示されます。
6. **[今すぐバックアップ]** をクリックします。

最初のオンライン バックアップは、完了するまでにかなりの時間を要することがあります。以降のバックアップ処理は、ファイルに対する変更のみがインターネットを使って転送されるので、大幅に速くなります。

### 4.5.1 オンライン バックアップのオプション

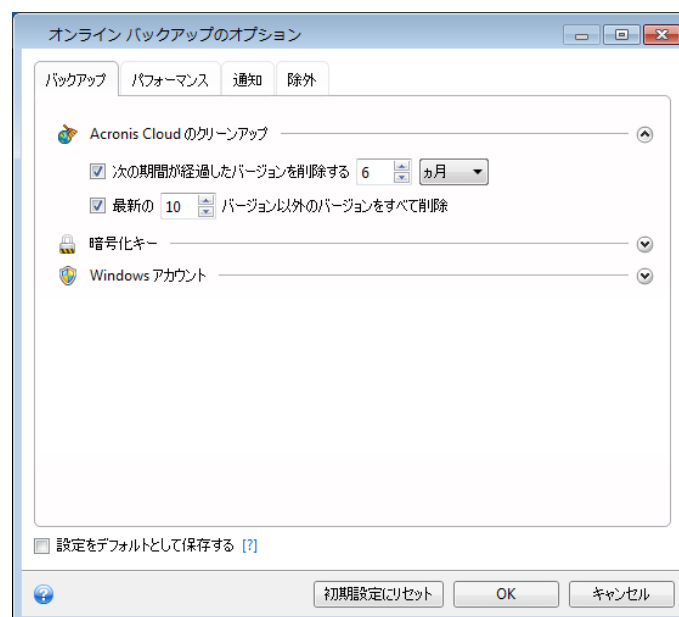
製品のインストール後に変更したオプションをすべて初期値にリセットする場合は、**[初期設定にリセット]** ボタンをクリックします。

#### Acronis Cloud のクリーンアップ

Acronis Cloud のクリーンアップ設定を構成して、その容量の使用率を最適化します。

Acronis Cloud でバージョン数の制限を設定する手順は、次のとおりです。

- **[次の期間が経過したバージョンを削除する]** チェック ボックスをオンにしてから、古いバージョンを保持する期間の上限を入力します。他のバージョンは、最新のバージョンを除き、すべて自動的に削除されます。
- **[最新の N バージョン以外のバージョンをすべて削除]** チェック ボックスをオンにしてから、ストレージに保持するバージョンの最大数を入力します。



これらの設定は永続的です。そのため、ファイルのバージョンは、指定したクリーンアップ条件のいずれかを満たすとすぐに削除されます。Acronis Cloud の 1 回だけのクリーンアップを実行する場合、または特定のファイルやフォルダを削除する場合は、Acronis Cloud ウェブ アプリケーションを

使用してください。詳細については、「Acronis Cloud からのデータの削除 (44ページ)」を参照してください。

## 暗号化キー

Acronis Cloud のデータを不正アクセスから保護するために、暗号化を使用することができます。この場合データは、暗号化された形式で Acronis Cloud に保存されます。データの暗号化と暗号化解除を行うためには、暗号キーが必要です。暗号キーは、コンピュータを登録するときに指定します。暗号キーは英数値からなる一意のコードで、パスワードのようなものです。任意の文字の組み合わせを指定できます。暗号キーでは大文字/小文字が区別されます。

---

暗号キーを取り出すことはできません。コンピュータ登録時に指定したキーを覚えておいてください。

---

暗号化されたデータにアクセスすると、暗号キーの入力を求められます。

---

既存のオンライン バックアップの暗号キーを設定または変更することはできません。

---

## オンライン バックアップ用の Windows アカウント

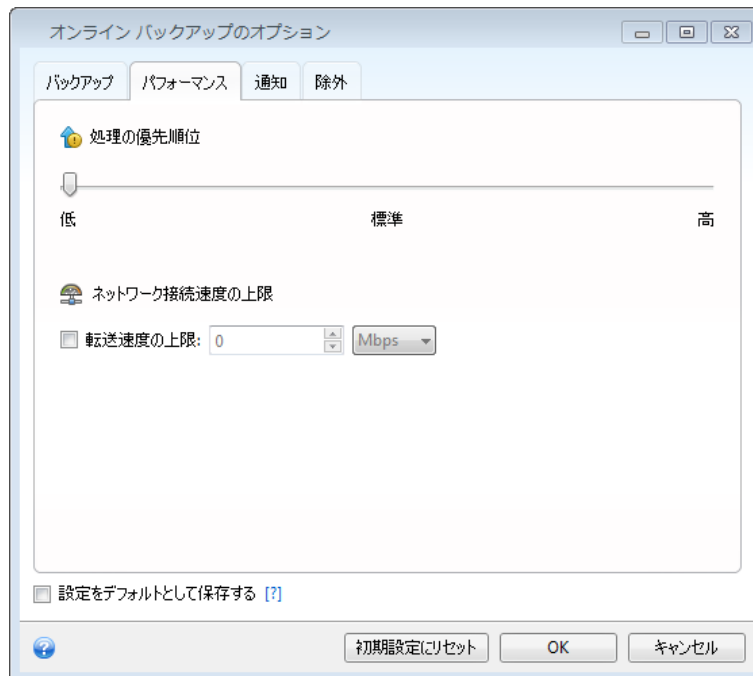
バックアップを作成するとき、そのバックアップを実行する Windows アカウントを指定できます。この機能は、コンピュータを自分だけではなく家族と共有している場合に便利です。通常、家族で共有している場合、各ユーザーは個人的なドキュメント、電子メール アカウント、設定、その他の個人的なデータを持っています。デフォルトの場合、True Image Lite 2013 では現在のユーザーのデータがバックアップされます。現在使用している Windows アカウントが自分自身のアカウントではない場合、この設定を変更することをお勧めします。このプログラムでは、指定されたアカウントのデータのみがバックアップされます。その他のアカウントのデータはバックアップされません。

現在の Windows アカウントを変更する手順は、次のとおりです。

1. **[別の Windows ユーザーとしてバックアップを実行]** チェックボックスをオンにします。
2. アカウント名とパスワードを該当するフィールドに入力します。

## 処理の優先順位

処理の優先度を変更すると、(優先度を上げるか下げるかにより)バックアップの処理速度を速くしたり遅くしたりできますが、他の実行中のプログラムのパフォーマンスに悪影響を及ぼす可能性もあります。システム中で実行されているプロセスの優先度は、そのプロセスに割り当てられる CPU やシステム リソースの使用量を決定します。処理の優先度を下げることによって、他の CPU タスクが利用できるリソースが増えます。処理の優先度を上げると、同時に実行している他の処理からリソースを取得するため、バックアップ処理の速度が向上します。優先度変更の効果は、全体的な CPU の使用状況およびその他の要因に応じて異なります。



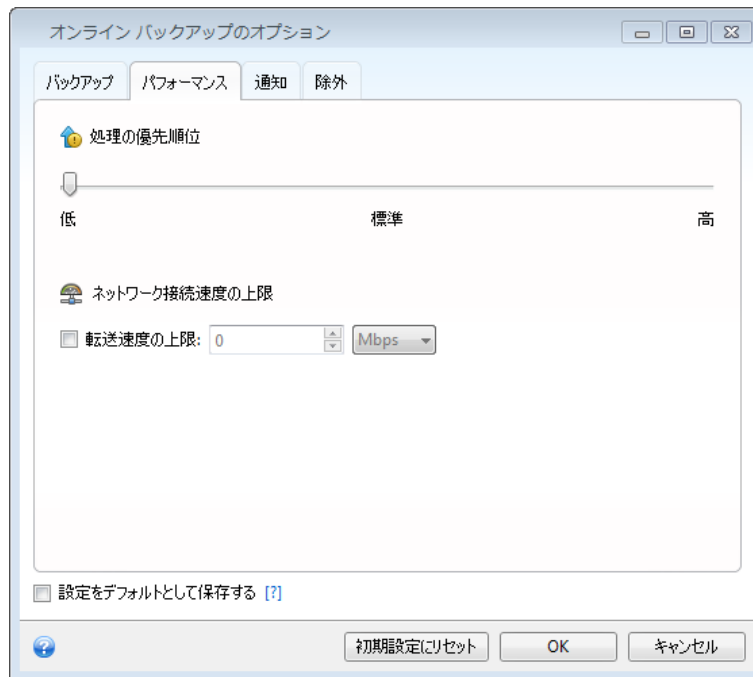
バックアップ処理の優先度は、次のように設定することができます。

- **[低]** (デフォルトで有効): バックアップ処理はより遅くなりますが、他のプログラムのパフォーマンスは向上します。
- **[通常]**: バックアップ処理と他の処理に、同じ優先度が割り当てられます。
- **[高]**: バックアップ処理は速くなりますが、他のプログラムのパフォーマンスは低下します。このオプションを選択すると、True Image Lite 2013 による CPU 使用率が 100% になる場合がありますので注意してください。

## ネットワーク接続速度の上限

Acronis Cloud への接続がその他のネットワーク接続に及ぼす影響を軽減できます。オンラインバックアップを実行中に、速度の低下を気にすることなく電子メールの送信やウェブの閲覧を実行できる接続速度を設定します。手順は次のとおりです。

- **[転送速度の上限]** チェックボックスをオンにして、適切な値と単位 (KB/秒または MB/秒) を指定します。



## 通知

バックアップ処理の通知に使用する電子メール アカウントを指定することができます。

電子メールによる通知を設定する手順は、次のとおりです。

- 電子メール アドレスを **[電子メール アドレス]** フィールドに入力します。複数の電子メール アドレスをセミコロンで区切って入力することもできます。
- 送信メール サーバー (SMTP) を **[送信メール サーバー (SMTP)]** フィールドに入力します。
- 送信メール サーバーのポート番号を設定します。デフォルトの場合、ポート番号は 25 に設定されます。
- **[ユーザー名]** フィールドにユーザー名を入力します。

- パスワードを [パスワード] フィールドに入力します。

オンライン バックアップのオプション

バックアップ パフォーマンス 通知 除外

処理状態に関する電子メールの通知を送信する

電子メール アドレス

サーバー設定: ポート:

送信メール サーバー (SMTP) 25

ユーザー名 パスワード

その他の通知設定

暗号化: なし

テスト メッセージの送信

設定をデフォルトとして保存する [?]

初期設定にリセット OK キャンセル

その他の通知設定を指定するには、[その他の通知設定] リンクをクリックします。

- 処理の完了に関する通知を送信するには、[処理が正常に完了したら通知を送信する] チェックボックスをオンにします。
- 処理の失敗に関する通知を送信するには、[処理が失敗したら通知を送信する] チェックボックスをオンにします。
- 処理メッセージを添付して通知を送信するには、[ユーザーの操作が必要な場合に通知を送信する] チェックボックスをオンにします。
- 処理の詳細なログを添付して通知を送信するには、[完全なログを通知に含める] チェックボックスをオンにします。

その他の設定を行った後、[OK] をクリックして以前のウィンドウに戻ります。

- 暗号化を使用する場合は、[暗号化] フィールドのドロップダウン リストから目的の暗号化プロトコルを選択します。

設定が正しいかどうかをチェックするには、[テスト メッセージを送信する] ボタンをクリックします。

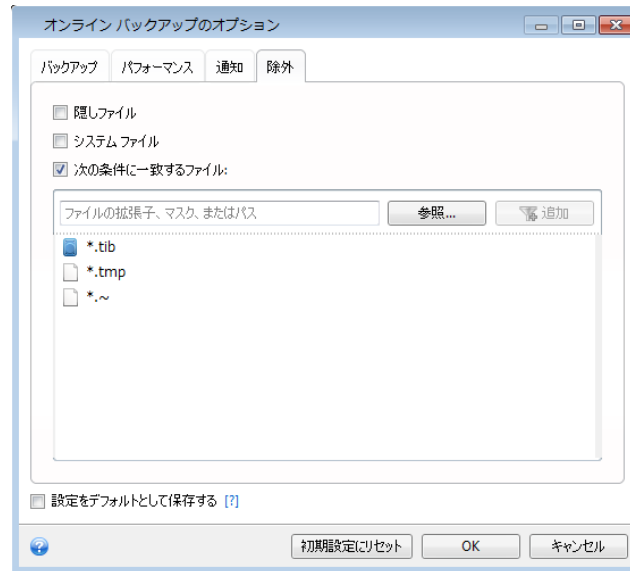
## 除外

オンライン バックアップから不要なファイルを除外する場合は、バックアップ オプションの [除外] タブで該当するファイルの種類を指定します。



## デフォルトの除外設定を使用する方法

アプリケーションをインストールすると、すべての除外設定は初期値に設定されます。これらのオプションは、現在のバックアップ処理のためだけに変更することも、今後のすべてのバックアップ向けに変更することも可能です。**[設定をデフォルトとして保存する]** チェック ボックスをオンにすると、変更した設定が今後のバックアップ作業すべてにデフォルトで適用されます。製品のインストール後に変更した設定をすべて初期値にリセットする場合は、**[初期設定にリセット]** ボタンをクリックします。



除外の対象と方法を次に示します。

1. 対応するチェック ボックスをチェックすることで、隠しファイルとシステム ファイルをバックアップから除外できます。
2. 指定した条件と一致するファイルを除外することができます。この場合は、**[次の条件に一致するファイル]** チェック ボックスをオンにし、除外条件を入力して **[追加]** をクリックします。

.~、.tmp、および .tib の拡張子を持つファイルは、デフォルトでバックアップから除外されます。

除外条件を追加する方法は、次のとおりです。

- バックアップから除外するファイル名を、次のように明示的に入力します。
  - file.ext - 該当するファイルはすべてバックアップから除外されます。
  - C:¥file.ext - C: ドライブにある file.ext ファイルが除外されます。
- 次のように、ワイルドカード文字(\* および ?)を使用できます。
  - \*.ext - .ext の拡張子を持つすべてのファイルが除外されます。
  - ??name.ext - 拡張子が .ext のファイルで、合計 6 文字(最初の 2 文字が任意の文字(??)で、残りの部分が name)のファイル名を持つすべてのファイルが除外されます。
- フォルダを除外する場合は、**[参照]** をクリックし、ディレクトリ ツリーで除外するフォルダを選択して **[OK]** をクリックし、**[追加]** をクリックします。

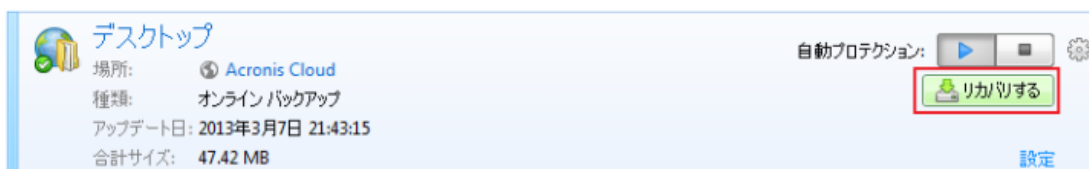
たとえば誤って追加した条件を削除するには、その条件の右にある **[削除]** アイコンをクリックします。

## 4.6 Acronis Cloud からのリカバリ

### 4.6.1 オンライン バックアップからデータをリカバリ

True Image Lite 2013 では、Acronis Cloud にバックアップされたデータを参照およびリカバリすることができます。複数のコンピュータからデータをバックアップした場合、データのリカバリを行う目的のコンピュータのオンライン バックアップ ボックスを選択します。

1. データのリカバリ元のオンライン バックアップのボックスの **[リカバリする]** ボタンをクリックします。Acronis Cloud ウェブサイトが表示されます。



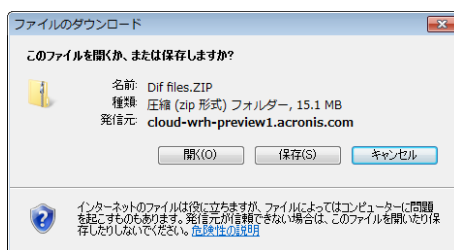
選択したコンピュータから取得したデータが、暗号化された形式で Cloud に保存されている場合、暗号化に使用した暗号化キーの入力を求められます。正しい暗号化キーを入力するまで、データにはアクセスできません。

2. **[ファイル]** タブで、リカバリするファイルおよびフォルダを選択します。**[ダウンロード]** ボタンをクリックして、リカバリを開始します。



複数のファイルとフォルダを選択した場合は、それらが zip アーカイブに格納されます。

3. **[ファイルのダウンロード]** ウィンドウが表示されたら、**[保存]** をクリックして、ダウンロードを開始します。



4. デフォルトでは、データは ダウンロード フォルダにダウンロードされます。ダウンロード パスは変更できます。
5. ダウンロードが終了したら、[フォルダを開く] をクリックして、ダウンロード フォルダを開くことができます。

## 4.6.2 リカバリするバージョンの選択

デフォルトでは、指定した日付に基づいた最新バージョンが True Image Lite 2013 で選択されます。ただし、どのファイルでも、リカバリするファイルの特定のバージョンを選択できます。

**特定のファイル バージョンをリカバリする手順は、次のとおりです。**

1. バックアップの内容で、リカバリするバージョンのファイルを選択し、右側にある歯車アイコンをクリックします。表示されるメニューで [バージョンの表示] を選択します。



2. ロールバックするバージョンを選択します。バージョンの正確な日付と時刻が表示されます。現在のバージョンは、その時点における状態に戻されます。
3. [リカバリする] をクリックして続行します。選択したバージョンが Acronis Cloud の最新バージョンになります。
4. 処理が終了したら、ウェブ ブラウザで [ファイル] ページを更新します。
5. ファイルをもう一度選択し、[ダウンロード] をクリックして、選択したバージョンを ダウンロード フォルダにダウンロードします。

## 4.7 オンライン バックアップの管理

最大 5 つの異なるコンピュータから、最大 5 つのオンライン バックアップを作成できますが、同時にアクティブ化できるのは、1 つのオンライン バックアップに限られます。

Acronis のマイ アカウントにログインすると、True Image Lite 2013 はオンライン バックアップがあるか検出を試みます。

マイ アカウントにオンライン バックアップが作成されている場合は(例: 別のコンピュータで実行するなど)、プログラムは次の処理を行います。既存のオンライン バックアップがコンソールに追加され、検出したオンライン バックアップについての通知が画面下部に表示されます。

既存のオンライン バックアップを 1 つ選択し、[ここでバックアップを続ける] ボタンをクリックすると、バックアップをアクティブ化できます。前に作成したこのバックアップを使用する場合、データのバックアップに使用したコンピュータがどのコンピュータであったかは問題になりません。バックアップされたデータは、そのままリカバリに利用可能な状態に保たれ、現在のコンピュータからさらに多くのデータをバックアップできます。

新しいオンライン バックアップを作成する必要がある場合、**[オンライン ノンストップ バックアップ]** をクリックします。

一度にアクティブにできるオンライン バックアップは 1 つのみであることに注意してください。他のコンピュータのオンライン バックアップでは、バックアップ データのリカバリのみが行えます。このようなオンライン バックアップも削除できます。

5 つのオンライン バックアップを既に作成した場合、True Image Lite 2013 によってダイアログが表示され、既にオンライン バックアップの最大数に達していることが通知されます。既存のバックアップのアクティブ化、新しいコンピュータに対する設定の変更、既存のオンライン バックアップの削除、新しいバックアップの作成を行うことができます。

## 4.8 Acronis Cloud からのデータの削除

Acronis Cloud 上の空き領域は限られているため、古いデータや不要になったデータをクリーンアップして Cloud を管理する必要があります。クリーンアップはさまざまなやり方で実行できます。

### バックアップ全体を削除する

最も「抜本的な」方法は、Acronis Cloud 上のコンピュータからバックアップ全体を削除する方法です。バックアップを削除するには、オンライン バックアップのボックスで歯車アイコンをクリックして **[処理]** メニューを開き、**[削除]** を選択して、確認ウィンドウで **[はい]** をクリックします。

### クリーンアップ設定

オンライン バックアップ オプションには、Acronis Cloud の自動クリーンアップもあります。指定された月数または日数を超えて保存されているファイルを削除するように指定できます。また、Acronis Cloud に保存されるファイル バージョンの最大数を設定できます。これらのオプションのデフォルト設定をそのまま利用するか、必要に応じて値を設定します。詳細については、「Acronis Cloud のクリーンアップ (36ページ)」を参照してください。

### ワンタイム クリーンアップ

Acronis Cloud がいっぱいの場合、または空き領域が不足しているとき、Acronis Cloud ウェブ アプリケーションのクリーンアップ ツールを使用することをお勧めします。このツールを使用すると、すばやく簡単に Cloud で非常に多くの領域を解放できます。

### Acronis Cloud をクリーンアップするには:

1. True Image Lite 2013 を起動し、オンライン バックアップ ボックスで **[リカバリ]** をクリックします。Acronis Cloud ウェブ アプリケーションに移動します。
2. **[ストレージ ステータス]** タブで、画面中央にある **[領域のクリーンアップ]** リンクをクリックします。
3. 開いたウィンドウで、クリーンアップ設定を行い、**[今すぐクリーンアップ]** をクリックします。

### 特定のファイルやフォルダを削除する

個別のファイルやフォルダを削除することによって Acronis Cloud を管理することもできます。

1. True Image Lite 2013 を起動し、オンライン バックアップ ボックスで **[リカバリ]** をクリックします。Acronis Cloud ウェブ アプリケーションに移動します。
2. 削除するファイルやフォルダのチェックボックスをオンにして選択します。選択が終了したら、**[削除]** ボタンをクリックします。

## 5 トラブルシューティング

### セクションの内容

Acronis システム レポート .....	45
Acronis スマート エラー レポート.....	45
クラッシュ ダンプの収集方法 .....	47
一般的な推奨事項.....	48
ログの表示 .....	48
Acronis カスタム エクスペリエンス プログラム.....	50

### 5.1 Acronis システム レポート

Acronis サポート センターへのお問い合わせの際には、通常、問題を解決するためにご使用のシステムに関する情報が必要になります。この情報を取得する処理は、簡単に実行できない場合や時間がかかる場合があります。システム レポートの生成ツールを利用すれば、この手順を簡素化できます。ツールを使うと必要なすべての技術情報を含むシステム レポートが生成されます。この情報をファイルに保存し、必要に応じて、作成したファイルを問題の報告に添付して Acronis サポート センターに送信することができます。このようにツールを使えば、問題解決の手順を簡素化し、解決に要する時間を短縮することができます。

システム レポートを生成するには、次のいずれかの操作を行います。

- メイン プログラム ウィンドウで疑問符をクリックして **[システム レポートを生成する]** を選択するか、または
- **Ctrl+F7** キーを押します。このキーの組み合わせは、True Image Lite 2013 が他の処理を実行中であっても、使用できます。

レポート生成後に、次の操作を行います。

- 生成されたシステム レポートをファイルに保存するには、**[保存]** をクリックし、表示されたウィンドウで、作成されるファイルを保存するロケーションを指定します。
- レポートをファイルに保存して、Acronis サポート センターに電子メールで送信するには、**[保存して送信]** をクリックします。
- レポートを保存せずにメイン プログラム ウィンドウを終了するには、**[キャンセル]** をクリックします。

### 5.2 Acronis スマート エラー レポート

ユーザーがトラブルシューティングを行えるように、Acronis 製品の新しいリリースでは、Acronis スマート エラー レポート機能が採用されています。プログラム処理に関するエラーの問題が発生すると、True Image Lite 2013 では、対応するエラー メッセージが表示されます。

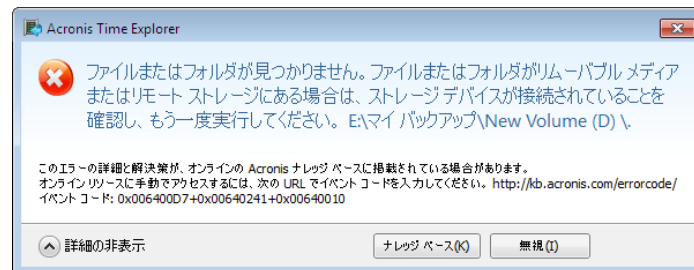
#### 通常のエラー

このエラー メッセージには、イベント コードと、エラーの簡単な説明(場合によっては、考えられる解決方法)が含まれています。たとえば、次のようなメッセージです。

「Check the disk and file system for errors and try to repeat the operation.Event Code: 0x000101F6」(ディスクとファイル システムのエラーを確認し、操作を繰り返してください。イベントコード: 0x000101F6)

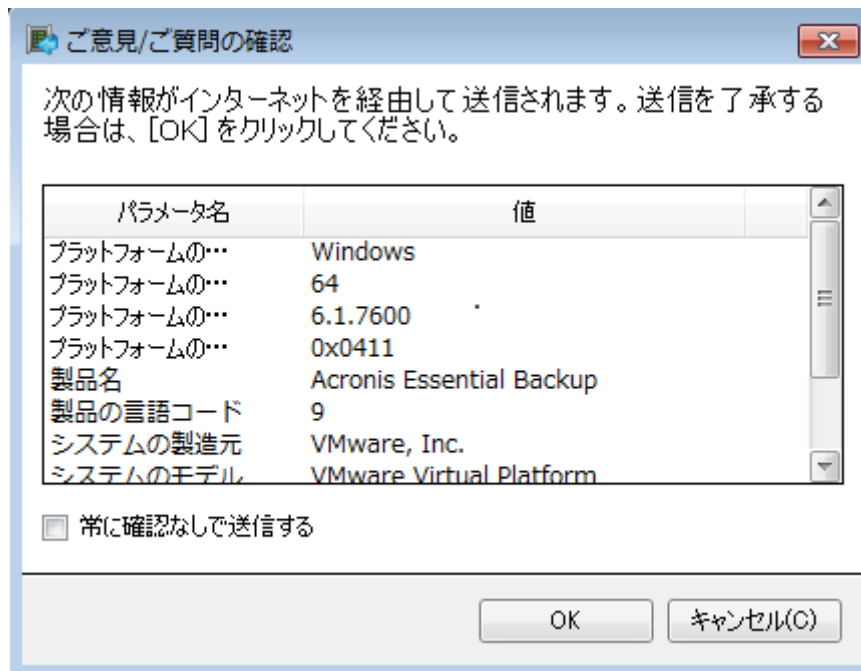
エラー メッセージには、エラーが発生したプログラム モジュールと、そのモジュールのエラー メッセージも含まれている場合があります。

エラーに関する詳細を表示するには、メッセージ ボックスで **[詳細]** リンクをクリックします。詳細の表示は次のスクリーンショットのようになります。



エラーを修正するための解決策が掲載されている Acronis ナレッジ ベースを表示するには、**[ナレッジ ベース]** ボタンをクリックします。

確認ウィンドウが開きます。このウィンドウには、インターネットを介して Acronis ナレッジ ベースに送信される情報が一覧表示されます。**[OK]** をクリックして、情報の送信を許可します。



以降は確認なしで情報を送信したい場合、**[常に確認なしで送信する]** チェックボックスをオンにします。

## 下位レベルのモジュールのエラー

場合によっては、下位レベルのプログラム モジュールで発生したエラーが上位レベルのモジュールに影響した結果、生じているエラーもあります。これはいわゆる複合エラーです。この場合、上位レ

ベルのすべてのモジュールで、独自のエラー(イベント)コードが生成されます。たとえば、次のようなエラー メッセージが生成されます。0x00970007+0x00970016+0x00970002

異なるモジュールのイベント コードは、「+」記号で結合されています。各モジュールのイベント コードを手動で適切なフィールドに入力してナレッジ ベースで検索する場合、「+」の前後にスペースを入れずにイベント コードの組み合わせを入力してください。

### インターネットにアクセスできない場合

エラー メッセージが表示されたときにインターネットにアクセスできなかった場合(たとえば、レスキュー メディアから起動した場合などに起こる可能性があります)、イベント コードをメモしておいてください。インターネット接続が確立された際や、インターネット接続が可能な別のコンピュータを使用できる場合には、次の URL から、Acronis のウェブサイトにあるエラー レポート フォームにアクセスしてください。<http://kb.acronis.com/errorcode/>

使用している Acronis 製品のバージョンを選択し、手動でイベント コードを適切なフィールドに入力します。次に、[Search] ボタンをクリックして、発生した問題の解決策が示されている可能性がある記事を探します。

入力したイベント コードがナレッジ ベースで認識されない場合は、ナレッジ ベースには、その問題の解決策を含む記事が掲載されていません。そのようなときは、アクロニス サポート センターでトラブル チケットをオープンしてください。

## 5.3 クラッシュ ダンプの収集方法

True Image Lite 2013 または Windows の異常終了はさまざまな理由で発生する可能性があるため、各異常終了の状況を個別に調べる必要があります。Acronis カスタマー サービスに次のような情報を提供すると役に立つことがあります。

**True Image Lite 2013 が異常終了した場合は、次の情報を提供してください。**

1. 問題が発生する前に実行した手順の正確な順序の説明。
2. ワトソン博士のクラッシュ ダンプ。このようなダンプの収集方法については、Acronis サポート ナレッジ ベース(KB)の記事(<http://kb.acronis.com/content/2192>)を参照してください。

**True Image Lite 2013 が原因で Windows が異常終了した場合は、次の情報を提供してください。**

1. 問題が発生する前に実行した手順の正確な順序の説明。
2. Windows のダンプ ファイル。このようなダンプの収集方法については、Acronis サポート KB の記事(<http://kb.acronis.com/content/17639>)を参照してください。

**True Image Lite 2013 が異常停止した場合は、次の情報を提供してください。**

1. 問題が発生する前に実行した手順の正確な順序の説明。
2. プロセスのユーザーダンプ。Acronis サポート KB の記事(<http://kb.acronis.com/content/6265>)を参照してください。
3. Process Monitor のログ。Acronis サポート KB の記事(<http://kb.acronis.com/content/2295>)を参照してください。

この情報にアクセスできない場合は、ファイルをアップロードするための FTP リンクについて Acronis サポート センターに問い合わせてください。

これらの情報は解決策を見つけるための時間の短縮に役立ちます。

## 5.4 一般的な推奨事項

以降の内容は、True Image Lite 2013 のインストールおよび使用中に発生した問題のトラブルシューティングに役立ちます。

問題の原因は外付けハードディスクの接続の緩みなど、単純なことである場合がよくあります。この章で説明している他の解決策を試す前に、問題が次のいずれかの原因により発生していないかどうかを確認してください。

- 外付けドライブへの接続の緩み
- 低品質な接続ケーブル

外付け USB ハード ドライブを使用している場合は、次の点についても確認してください。

- ハブを経由してドライブに接続している場合は、PC の背面のコネクタに直接接続する
- PC に接続されている他の USB デバイスとの競合を避けるために、すべての USB デバイスの接続を外す(マウスとキーボードを除く)

Acronis サポート ナレッジ ベース(KB)で、問題の解決策を検索することができます。サポート KB にアクセスするには、<http://kb.acronis.com/> をクリックしてください。アクセスしたら、検索機能を使用します。問題に関連するキーワードを適切なフィールドに入力し、[Search] をクリックします。特定の問題に関して推奨される解決策が見つかる場合があります。Acronis サポート センターは随時新しい資料を KB に追加しています。問題の解決策が KB で見つからなかったり、推奨された解決策が役に立たなかったりした場合は、Acronis カスタマー サービス (<http://www.acronis.co.jp/support/>)までお気軽にお問い合わせください。

True Image Lite 2013 の使用中にエラーが発生した場合、エラー メッセージ ボックスの中に、[ナレッジ ベース] ボタンが表示されます。ボタンをクリックすると、エラーの原因となった問題の解決策を提案するサポート KB の記事が表示されます。エラー メッセージ ボックスには、Acronis のサポート KB へのリンクも表示されます。このリンクは、KB で適切な記事が見つからなかった場合に便利です。リンクをクリックすると、ウェブ フォームが表示されるので、エラー ボックスのイベント コードを入力し、KB 全体で解決策を検索できます。詳細については、「Acronis スマート エラー レポート (45ページ)」を参照してください。

### システム レポート

Acronis サポート担当者は、お客様にシステム レポートの提供を求めることがあります。レポートを作成するには、[ヘルプ] メニューで [システム レポートを生成する] を選択してから、レポートを保存し、Acronis カスタマー サービスに送信します。詳細については、「Acronis システム レポート (45ページ)」を参照してください。

## 5.5 ログの表示

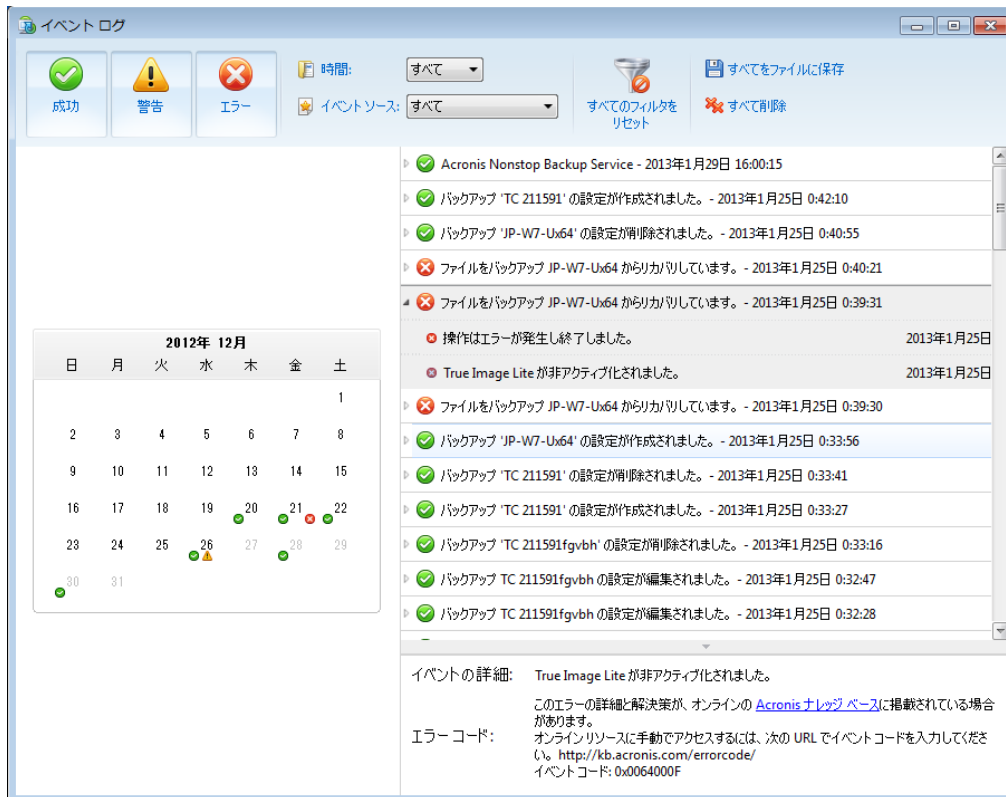
ほとんどの True Image Lite 2013 処理で、ログに独自のエントリが書き込まれます。処理中に問題が発生した場合、ログ エントリにより、問題の原因究明につながる情報が得られます。



ログには、たとえばスケジュールされたバックアップの結果(失敗した場合はその原因も含む)についての情報が表示されます。

True Image Lite 2013 の処理をログで参照する場合は、ツールバーの歯車アイコンをクリックして [設定] メニューを開き、[ログの表示] を選択します。

バックアップ ボックスの [処理] メニューで [ログの表示] を選択することで、表示のためにログを開くこともできます。この場合、選択したバックアップの最後の実行のログ項目のみが表示されます。



## ログ エントリの表示

デフォルトでは、すべてのログが表示されるように選択されています。右側のペインには、折りたたまれた状態で主要なログ エントリがすべて表示されます。ログ エントリを展開して個々のログ項目を表示するには、ログ エントリをダブルクリックします。展開したログ エントリを折りたたむには、もう一度エントリをダブルクリックします。ウィンドウの右側にあるスクロール バーを使用して、ログ エントリをスクロールできます。

一部のエラー イベントでは、ログに [問題の解決方法] リンクが含まれている場合があります。このリンクをクリックすると、問題の解決に役立つ Acronis ナレッジ ベースの記事が表示されます。

ログ エントリを削除するには、そのログ エントリを選択し、右クリックして、ショートカット メニューで [削除] を選択します。すべてのログ エントリを削除するには、[すべてを削除] を削除します。また、[ファイルに保存] を選択してログ エントリをファイルに保存することもできます。すべてのログをファイルに保存するには、[すべてをファイルに保存] を選択します。

## ツールバー

目的の期間のログを表示するには、ドロップダウン リストからその期間を選択します。ユーザーは、**[今日]**、**[先週]**、**[先月]**、**[カスタム]** を選択できます。すべてのログを表示するには、**[すべて]** を選択します。

特定の期間のログを表示するには、**[カスタム]** を選択して、対象とする期間を指定します。目的の期間の開始日と終了日を直接そのフィールドに入力することもできます。またカレンダーに基づいて期間を選択できます。選択するには、**Shift** キーを押した状態で、開始日、終了日の順にクリックします。

特定のイベント ソースのログを表示するには、**[イベント ソース:]** の下にあるドロップダウン リストで目的のイベント ソースを選択します。選択できるイベント ソースは次のとおりです。

- **[すべて]**: ログに記録されたすべてのイベントを表示します。
- **[すべてのバックアップ]**: すべてのバックアップのログを表示します。
- **[<バックアップ名>]**: 名前を選択した特定のバックアップのログを表示します。
- その他

左側にある 3 つのボタンによって、正常完了状態、警告メッセージ、およびエラー メッセージのイベントにフィルタを適用することができます。

すべてのフィルタをデフォルト値にリセットするには、**[すべてのフィルタをリセット]** をクリックします。

右上には、**[すべてをファイルに保存]** および **[すべて削除]** ボタンがあります。これらのボタンは、対応するショートカット メニュー項目と同じ処理を実行します。

## カレンダーの選択

カレンダーの一番上と一番下にある上下の矢印のボタンを使用すると、カレンダーに表示される月を変更できます。

カレンダー内の色はそれぞれの日の状態を示しており、処理がエラー(赤いマーク)、警告(黄色のマーク)、正常(緑のマーク)のいずれかで完了したかを通知しています。現在の日付は強調表示されています。マークされた日付をクリックすると、その日のログが表示されます。

## 5.6 Acronis カスタム エクスペリエンス プログラム

Acronis カスタム エクスペリエンス プログラム(CEP)は、Acronis のお客様が、Acronis 製品の機能、設計、および開発に貢献できる新しい手段です。このプログラムにより、お客様は、ホスト コンピュータや仮想マシンのハードウェア構成、使用頻度が最も多い(および少ない)機能、発生する問題の性質に関する情報など、さまざまな情報を提供できます。この情報を基にして、お客様が頻繁に使用する Acronis 製品と機能を向上させることができます。

このプログラムへの参加を選択された場合技術的な情報が 90 日ごとに自動的に収集されます。氏名、住所、電話番号、キーボード入力などの個人データは収集されません。CEP への参加は任意ですが、お客様のニーズをいっそう満たすために、ソフトウェアの改善と拡張された機能を提供することを最終的な目的としています。

プログラムへの参加はいつでもやめることができます。

参加の条件については、**[詳細]** をクリックしてください。

**いずれかを選択してください。**

- プログラムに参加する場合は、**[このプログラムに参加する]** を選択してください。
- プログラムに参加しない場合は、**[参加しない]** を選択してください。

## 著作権について

Copyright © Acronis International GmbH, 2002-2013. All rights reserved.

"Acronis"、"Acronis Compute with Confidence"、"Acronis Recovery Manager"、"Acronis セキュアゾーン"、Acronis True Image、Acronis Try&Decide、および Acronis ロゴは、Acronis International GmbH の商標です。

Linux は、Linus Torvalds の登録商標です。

VMware および VMware Ready は、VMware, Inc. の米国ならびにその他の地域における商標または登録商標です。

Windows および MS-DOS は、Microsoft Corporation の登録商標です。

ここに記載されているその他すべての商標および著作権は、それぞれの権利所有者に帰属します。

著作権所有者の明示的な許可なく本ドキュメントの実質的な修正版を配布することは禁止されています。

著作権所有者からの事前の許可がない限り、いかなる形態(紙媒体など)であっても商業目的で本ドキュメントまたはその派生物を配布することは禁止されています。

ドキュメントは、「現状のまま」で提供され、商品性に対する黙示的保証、特定の目的に対する適合性、権利を侵害していないことなどを含む明示的または黙示的な条件、言明、および保証に関する責任を負いません(免責条項の範囲が法的に無効と見なす場合を除く)。

本ソフトウェアまたはサービスにサードパーティのコードが付属している場合があります。サードパーティのライセンス条項の詳細については、ルート インストール ディレクトリにある license.txt ファイルをご参照ください。本ソフトウェアまたはサービスと共に使用するサードパーティ コードおよび関連するライセンス条項の最新の一覧については、<http://kb.acronis.com/content/7696> をご参照ください。

## Acronis の特許取得済み技術

本製品で使用されている技術は、次の米国特許によって保護されています。米国 米国特許 #7,047,380、米国 米国特許 #7,275,139、米国特許 #7318135、米国特許 #7,366,859、米国特許 #7,462,11、米国特許 #7,603,533、米国特許 #7,650,473、米国特許 #7,831,789、米国特許 #7,895,403、米国特許 #7,934,064、米国特許 #7,953,948、米国特許 #8,005,797、米国特許 #8,069,320、米国特許 #8,074,035

## 6 用語集

### オンライン バックアップ

オンライン バックアップとは、Acronis Online Backup を使用して作成されるバックアップのことです。オンライン バックアップは Acronis Cloud と呼ばれる特別なストレージに保存され、インターネット経由でアクセスできます。オンライン バックアップの主な利点は、すべてのバックアップがリモートのロケーションに保存されることです。これにより、ユーザーのローカルなストレージに依存せず、すべてのバックアップ データの安全が保証されます。Acronis Cloud の使用を開始するには、サービスに登録する必要があります。

### ノンストップ バックアップ

ノンストップ バックアップとは実際には、Acronis ノンストップ バックアップ機能を使用して作成されたディスク/パーティションまたはファイルのバックアップです。これは、1 つの完全バックアップ バージョンと、短い間隔で作成された一連の増分バックアップ バージョンの組み合わせです。ほぼ連続したデータの保護を実現し、必要に応じて任意の復元ポイントにおける以前のデータの状態にリカバリできます。

### ノンストップ プロテクション

ノンストップ プロテクション - ノンストップ バックアップ機能が有効になっているときに実行される処理です。

### バックアップ

1. バックアップ処理と同じです。
2. バックアップ設定を使用して作成、管理するバックアップ バージョンのセットです。バックアップには、完全バックアップと増分バックアップの両方の方法で作成された複数のバックアップ バージョンが含まれる場合があります。同じバックアップに属するバックアップ バージョンは、通常同じ場所に保存されます。

### バックアップ バージョン

単一のバックアップ処理の結果。物理的には、特定の日にバックアップされたデータのコピーを含む単独または一連のファイルです。Acronis True Image Lite 2013 によって作成されたバックアップ バージョン ファイルの拡張子は TIB です。バックアップ バージョンの統合による TIB ファイルもバックアップ バージョンと呼ばれます。

### バックアップ バージョン チェーン

最初の完全バックアップ バージョンと、後続の 1 つまたは複数の増分または差分バックアップ バージョンから構成される、最低 2 つのバックアップ バージョンからなる一連のバックアップ バージョンです。バックアップ バージョン チェーンは、次の完全バックアップ バージョン(存在する場合)まで続きます。

### バックアップ設定

新しいバックアップの作成時にユーザーが設定するルールのセットです。このルールによって、バックアップ処理を制御します。後でバックアップ設定を編集し、バックアップ処理を変更または最適化することができます。

### バックアップ操作

特定の日のデータを復元するために、コンピュータのハードディスク上に存在するデータのコピーを作成する処理。

### リカバリ

リカバリとは、壊れたデータをバックアップに保存されている以前の正常な状態に戻す処理のことです。

## 漢字

### 統合

同じバックアップ (53ページ)に属する 2 つ以上の連続したバックアップ バージョン (53ページ)を結合して単一のバックアップ バージョンにします。

統合を行うと、不要なバックアップ バージョンを、任意のバックアップ チェーンから削除できます。その際、チェーンのバックアップの整合性は維持されます。統合するチェーンは、完全バックアップと 1 つまたは複数の増分バックアップから構成されています。統合では、選択されたバックアップが保持され、選択されなかったバックアップは削除されます。統合処理には時間がかかり、システム リソース(ディスク領域など)が大量に必要となる場合があります。

Acronis ノンストップ バックアップでは、異なる統合メカニズムが使用されています。この場合、バックアップ データの管理用に使用されているメタデータ情報が統合されます。これは、メタデータの情報量が、バックアップ データの量よりもはるかに少ないからです。その結果、統合に必要な時間およびシステム リソースが大幅に減少します。